

授 業 計 画

共通教育科目

2017年度

(平成29年度)



大分県立工業大学

授業科目	ページ	授業科目	ページ
人文社会		保健体育	
文章表現法	1	生涯スポーツⅠ	73
技術の倫理	4	生涯スポーツⅡ	76
異文化コミュニケーション	7	生涯スポーツⅢ	79
情報・メディア・文化	10	生涯スポーツⅣ	82
企業と家計の経済学	13	健康科学	85
日本経済の経済学	16	総合教育	
日本国憲法	19	就業力基礎（建築以外）	88
自然科学		就業力基礎（建築）	92
数学基礎	22	地域の現状と課題	95
微分積分学	25		
線形代数学（機械・建築）	28		
線形代数学（交通・情報）	31		
物理学Ⅰ	34		
物理学Ⅱ	37		
物理学実験	39		
言語			
ベーシックイングリッシュ	42		
オーラルイングリッシュⅠ	44		
オーラルイングリッシュⅡ	48		
英語コミュニケーションスキル	52		
科学技術英語	55		
オーラル科学技術英語	58		
上級オーラルイングリッシュ	61		
英語資格試験等対策講座	64		
韓国語	67		
中国語	70		

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12111	前期	1-2 (1 年次)	2
授業科目名	文章表現法			学習相談	
英字科目名	Writing Techniques			6 号館 4F 異研究室	
代表教員名		担当教員名			
巽靖昭 (Yasuaki TATSUMI)		巽靖昭 (Yasuaki TATSUMI)			
使用テキスト					
特に定めず、講義中は配布のプリントを中心に進めます。					
授業の概要					
レポート・論文作成や就職活動のために、わかりやすい文章の書き方を学びます。毎回の講義後半で、その日のトピックに関する演習問題や文章の作成を行ってもらい、その提出をもって出席とします。					
到達目標					
1. 「読んでもらえる履歴書」が正しい形式で書ける。 2. 「主張の明確なレポート」を正しい形式で書ける。					
履修上の注意					
毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員（巽）に質問して解いたりしても構いません。					
成績評価の方法・基準					
講義中演習問題(40%), 手書き履歴書（30%）、最終レポート（30%）					
課題に対するフィードバック					
久留米工業大学 e.Campus より宿題の提出状況は確認出来る。					
参考図書	篠田義明『コミュニケーション技術-実用的文章の書き方』中公新書 桑田てるみ『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版：スキルを学ぶ 21 のワーク』実教出版				
関連科目	就業指導Ⅰ、就業指導Ⅱ				
学位授与の方針との関連	（技能・表現） （7） 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	履歴書を書く 1 : 「自己 PR」欄を書くために自己分析を行う。	予習	なし
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(2)	履歴書を書く 2 実際に「自己 PR」欄を書いてみる。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(3)	履歴書を書く 3 : 自己 PR を複数用意する。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(4)	履歴書を書く 4 : 「学生時代に力を注いだこと」欄を書く。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(5)	履歴書を書く 5 : 履歴書の下書きをコンピュータで作成する。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(6)	履歴書を書く 6 : 履歴書を手書きで清書する。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(7)	レポートを書く 1 : レポートのための参考文献を読む A 文章表現ミニレッスン:ワンワードワンミーニング	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(8)	レポートを書く 2 : レポートのための参考文献を読む B 文章表現ミニレッスン:結論は最初に書く。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(9)	レポートを書く 3 : レポートのための参考文献を読む C 文章表現ミニレッスン:文は短く。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。

(10)	レポートを書く 4 : レポートのための参考文献を読む D 文章表現ミニレッスン : 修飾語をわかりやすく。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(11)	レポートを書く 5 : レポートのための参考文献を読む E 文章表現ミニレッスン : パラレリズムの原則	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(12)	レポートを書く 6 : 序論を書く。 文章表現ミニレッスン : 引用方法を知る 1	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(13)	レポートを書く 7 : レポート本文を書く。 文章表現ミニレッスン : 引用方法を知る 2	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(14)	レポートを書く 8 : レポート本文作成を続ける。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。
(15)	レポートを書く 9 : レポートを作成させ、採点基準 (ルーブリック) を参照して自己採点を行う。	予習	前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義に提示された課題を完成させ提出する。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12030	前期	3	2
授業科目名	技術の倫理			学習相談	
英字科目名	Ethics of Technology			授業終了後、必要に応じ担当教員に相談すること。	
代表教員名		担当教員名			
田中廣重 (Hiroshige TANAKA)		田中廣重(Hiroshige TANAKA)			
使用テキスト					
JABEE 対応 「技術者倫理入門」 小出泰士著（丸善出版）					
授業の概要					
技術が社会に強い影響力を持つ時代、倫理観のある技術者が、この技術を扱うのでなければ社会にとっては危険です。そのため、技術者には広い視野で社会のために行動できる人格が期待されています。 「技術倫理」について、技術者が直面する様々な状況を例に、いかにすれば本来果たすべき倫理観を達成できるかを考えていきます。					
到達目標					
(1)技術者が直面する様々な状況や、その対応についての具体的な事例を参考に、技術者としての倫理観を身に付ける。 (2)協議や発表を取り入れ、協調性、コミュニケーション能力を身に付ける。 (3)情報収集力、発信力を身に付ける。					
履修上の注意					
・ガイダンス欠席者（公欠、病気等の特別な理由がある者を除く）は、以後の受講を認めない。 ・テキストの事例について、グループ協議への参加及び各自の発表を求める。 ・授業終了時のリアクションシート提出をもって出席とみなす。 ・過去に単位認定を受けた者は、履修できない。 ・出席回数を重視する。欠席は3回まで。（4回以上の欠席は失格）					
成績評価の方法・基準					
リアクションシート（50%）、期末テスト（50%）で総合評価。					
課題に対するフィードバック					
リアクションシート等に表示された内容については、必要に応じて最終講義までにフィードバックする。					
参考図書	・「技術者の倫理 入門」（第4版）杉本泰治・高城重厚著（丸善株式会社） ・第3版「科学技術者の倫理 その考え方と事例」日本技術士会訳編（丸善株式会社）				
関連科目					
学位授与の方針との関連	（知識・理解） （1） 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	ガイダンス 技術者倫理について	予習	テキスト「はじめに」を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(2)	組織の中の技術者① □スペースシャトルの事故（その教訓）	予習	テキスト 第1章 第1節、第2節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(3)	組織の中の技術者② □スペースシャトルの事故（その教訓）	予習	テキスト第1章 第3節～第5節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(4)	説明責任① □三菱自動車ハブ欠陥事件	予習	テキスト第3章 第1節、第2節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(5)	説明責任② □三菱自動車ハブ欠陥事件	予習	テキスト第3章 第3節～第5節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(6)	製造物責任① □カネミ油症事件	予習	テキスト第4章 第1節～第3節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(7)	製造物責任② □製造物責任法	予習	テキスト第4章 第4節～第6節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(8)	リスクとヒューマンエラー① □リスクとは □ヒューマンエラー	予習	テキスト第5章 第1節、第2節を熟読
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(9)	リスクとヒューマンエラー② □JCO臨界事故	予習	テキスト第5章 第3節を熟読
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(10)	費用と便益分析① □フォード社ピント事件 □費用・便益分析	予習	テキスト第6章 第1節、第2節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。

(11)	費用と便益分析② □許容可能なリスク	予習	テキスト第6章 第3節～第5節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項を復習する。
(12)	内部告発① □東京電力データ改ざん事件 □内部告発	予習	テキスト 第7章 第1節～第3節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項を復習する。
(13)	内部告発② □内部告発 □守秘義務	予習	テキスト 第7章 第4節～第7節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(14)	知的財産権① □青色発光ダイオードの発明 □知的財産権	予習	テキスト 第8章 第1節～第3節を熟読する。
		復習	学習内容及び授業で示した協議事項について復習する。
(15)	知的財産権② □職務発明 まとめ □技術の倫理まとめ	予習	テキスト 第8章 第4節～第8節を熟読する。
		復習	これまでの学習内容及び授業で示した協議事項について復習し、期末テストに備える。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12040	後期	4	2
授業科目名	異文化コミュニケーション			学習相談	
英字科目名	Cross-cultural Communication			6 号 館 4 階 松 中 研 究 室 e-mail:matunaka@cc.kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
松中 完二(kanji MATSUNAKA)		松中 完二(kanji MATSUNAKA)			
使用テキスト					
ナンシー坂本 POLITE FICTIONS in collision(異文化の理解と誤解)(金星堂)					
授業の概要					
本講義では、日本人とアメリカ人のコミュニケーションスタイルの違いや、そうした違いを乗り越える有効な手段と表現法について学び考え、理想的な相互コミュニケーションのあり方について考察、解説、議論する。					
到達目標					
1. 平易な英文を辞書なしで速読し、理解できるようになる。 2. 異文化理解の促進へとつながる英語と英語圏、日本語圏での文化的背景や価値観、社会通念などの相違を知る。 3. 異文化理解と言語交流の在り方について見識を深め、コミュニケーション学に興味を持つ。					
履修上の注意					
・出席回数、授業参加の態度が最重要。 ・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 ・授業に関係のないおしゃべりやスマホでのゲーム、無断退出など授業中に授業に関係も必要もない行為を注意された場合は減点の対象となります。					
成績評価の方法・基準					
・予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る復習を実施するので復習しておくこと。 ・授業中に注意された点も累積して減点対象となります。 ・ペーパーテスト 100%で授業中の発表なども加味します。ただし授業中の注意により減点されます。					
課題に対するフィードバック					
・毎回授業の最初に前回授業内容に係る内容理解のテストを実施するので復習しておくこと。 ・試験の答案は成績発表後に返却します。					
参考図書	・石井畝、久米昭元、岡部朗一『異文化コミュニケーション』(有斐閣) ・今井康夫『アメリカ人と日本人』(創流出版)				
関連科目	「情報・メディア・文化」など。				
学位授与の方針との関連	前期の「情報・メディア・文化」の発展編、応用編としての性質を持っている。工学部という本学の専門性だけでなく、卒業生の海外の工場勤務という過去の例もあるように、将来的なグローバル化への対応を見据えて英語でのコミュニケーションスタイルの理解を目指し、異文化間コミュニケーションの誤解と軋轢の危険性を少なくするのが狙いであり、本学の学位授与にふさわしい科目である。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	講義の概要について説明。授業回数と授業の進め方について理解する。	予習	初回なので特に必要なし。ただし出席は必須
		復習	授業初回なので特に必要なし。ただし出席や欠席回数、授業の進め方などの授業の規定についてはしっかりと理解しておくこと。
(2)	Chapter1 You & I are equals 日米間における平等の概念について解説、考察する。	予習	Chapter1 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter1 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(3)	Chapter1 You & I are equals 日米間における平等の概念について解説、考察する。	予習	Chapter1 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter1 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(4)	Chapter1 You & I are equals 日米間における平等の概念について解説、考察する。	予習	Chapter1 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter1 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(5)	Chapter2 You & I are Close Friends 日米間における友情の概念について解説、考察する。	予習	Chapter2 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter2 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(6)	Chapter2 You & I are Close Friends 日米間における友情の概念について解説、考察する。	予習	Chapter2 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter2 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(7)	Chapter2 You & I are Close Friends 日米間における友情の概念について解説、考察する。	予習	Chapter2 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter2 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(8)	Chapter3 You & I are Relaxed 日米間における待遇の概念について解説、考察する。	予習	Chapter3 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter3 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(9)	Chapter3 You & I are Relaxed 日米間における待遇の概念について解説、考察する。	予習	Chapter3 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter3 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。

(10)	Chapter3 You & I are Relaxed 日米間における待遇の概念について解説、考察する。	予習	Chapter3 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter3 の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(11)	Chapter4 You & I are Independent 日米間における自立の概念について解説、考察する。	予習	Chapter4 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter4 の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(12)	Chapter4 You & I are Independent 日米間における自立の概念について解説、考察する。	予習	Chapter4 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter4 の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(13)	Chapter4 You & I are Independent 日米間における自立の概念について解説、考察する。	予習	Chapter4 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter4 の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(14)	Chapter5 People as Individuals 日米間における個人の概念について解説、考察する。	予習	Chapter5 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Chapter5 の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(15)	総括。これまでの授業の内容理解の確認と全体のまとめ。試験対策。	予習	これまでの全授業の内容を見直し、確認しておくこと。
		復習	試験に向けて合格点取れるよう、これまでの全授業の内容を確認しておくこと。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12060	前期	3-6	2
授業科目名	情報・メディア・文化			学習相談	
英字科目名	Information, Media and Culture			6 号 館 4 階 松 中 研 究 室 e-mail:matunaka@cc.kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
松中 完二 (KANJI MATSUNAKA)		松中 完二(KANJI MATSUNAKA)			
使用テキスト					
西田ひろ子 AMERICAN COMMUNICATION PATTERNS (金星堂)					
授業の概要					
本講義では、メディアが発信する日本人像やアメリカ人像の情報について学ぶとともに、ステレオタイプと偏見についても考察します。そして日米文化の相違を学びながら、有効な英語コミュニケーションのあり方について講義し、共に考えます。					
到達目標					
1. 大学1年生レベルの平易な英文を辞書なしで速読し、理解できるようになる。 2. 英語圏、日本語圏での文化的背景や価値観、社会通念などの相違に気づき、そうした相違を乗り越えた異文化理解と言語交流の理想的な在り方についても見識を深める。					
履修上の注意					
・出席回数、授業参加の態度が最重要。 ・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 ・授業に関係のないおしゃべりやスマホでのゲーム、無断退出など授業中に授業に関係も必要もない行為を注意された場合は減点の対象となります。					
成績評価の方法・基準					
・予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る復習を実施するので復習しておくこと。 ・授業中に注意された点も累積して減点対象となります。 ・ペーパーテスト 100%で授業中の発表なども加味します。ただし授業中の注意により減点されます。					
課題に対するフィードバック					
・毎回授業の最初に前回授業内容に係る内容理解のテストを実施するので復習しておくこと。 ・試験の答案は成績発表後に返却します。					
参考図書	・『アメリカ人と日本人』今井康夫 (創流出版)				
関連科目	「異文化コミュニケーション」、「ベーシックイングリッシュ」など。				
学位授与の方針との関連	工学部という本学の専門性だけでなく、卒業生の海外の工場勤務という過去の例もあるように、将来的なグローバル化への対応を見据えて英語でのコミュニケーションスタイルの理解を目指し、異文化間コミュニケーションの誤解と軋轢の危険性を少なくするのが狙いであり、本学の学位授与にふさわしい科目である。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	講義の概要について説明。授業回数と授業の進め方について理解する。	予習	初回なので特に必要なし。ただし出席は必須。
		復習	授業初回なので特に必要なし。ただし出席や欠席回数、授業の進め方などの授業の規定についてはしっかりと理解しておくこと。
(2)	Unit1: Receiving a gift 日米間における贈答の相違について解説、考察します。	予習	Unit1 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit1 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(3)	Unit2 :Introduction & greetings 日米間における挨拶の相違について解説、考察します。	予習	Unit2 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit2 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(4)	Unit3 : “Make yourself at home” 日米間における接待の相違について解説、考察します。	予習	Unit3 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit3 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(5)	Unit4: Embarrassing difficulties 日米間におけるマナーの相違について解説、考察します。	予習	Unit4 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit4 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(6)	Unit5: What to call a professor 日米間における先生の相違について解説、考察します。	予習	Unit5 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit5 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(7)	Unit6: Eye contact 日米間における目配せの相違について解説、考察します。	予習	Unit6 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit6 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(8)	Unit7: Silence 日米間における沈黙の相違について解説、考察します。	予習	Unit7 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit7 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(9)	Unit8: Japanese smiles 日米間における日本人の微笑について解説、考察します。	予習	Unit8 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit8 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。

(10)	Unit9: American smiles 日米間における米国人の微笑について解説、考察します。	予習	Unit9 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit9 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(11)	Unit10: Content or human relation? 日米間における義理人情の相違について解説、考察します。	予習	Unit10 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit10 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(12)	Unit11: Speech organization 日米間におけるスピーチの相違について解説、考察します。	予習	Unit11 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit11 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(13)	Unit12: How to begins presentation 日米間におけるプレゼンの相違について解説、考察します。	予習	Unit12 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit12 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(14)	Unit13: What do Americans do after work? 日米間における公私の相違について解説、考察します。	予習	Unit13 の該当箇所を学習し、内容を和訳しておくこと。
		復習	Unit13 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(15)	総括。これまでの授業の内容理解の確認と全体のまとめ。試験対策。	予習	これまでの全授業の内容を見直し、確認しておくこと。
		復習	試験に向けて合格点が取れるよう、これまでの全授業の内容を確認しておくこと。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12121	前期	3-6	2
授業科目名	企業と家計の経済学			学習相談	
英字科目名	Introduction to Microeconomics			6号館 4F 異研究室	
代表教員名		担当教員名			
異靖昭 (Yasuaki TATSUMI)		異靖昭 (Yasuaki TATSUMI)			
使用テキスト					
後述の参考書の内容で進めますが、講義中は配布のプリントを主に使用します。					
授業の概要					
多くの企業にとって、自社の製品にどのような価格をつけるのかというのは大きな問題です。ここでは、企業の経営について、トピックを価格戦略に絞り、ミクロ経済学の道具を用いて、その意味を学びます。毎回講義の後半で、その日の内容の演習問題を行い、回答の提出をもって出席とします。					
到達目標					
1. 企業の経営の概略が理解できる。 2. 企業の経営に関連したキーワードを自分の言葉で説明できる。					
履修上の注意					
毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員（異）に質問して解いたりしても構いません。					
成績評価の方法・基準					
講義中演習問題及び宿題(40%)，中間試験(30%)，期末試験（30%）					
課題に対するフィードバック					
久留米工業大学 e.Campus より、オンラインで出される課題は、e.Campus より得点が確認出来る。中間試験は講義中に返却し解説を行う。					
参考図書	伊藤元重『ビジネス・エコノミクス』				
関連科目	日本経済の経済学				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (1) 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	需要量と消費者余剰： 需要曲線と消費者余剰の意味	予習	なし
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(2)	なめらかな需要曲線： 関数を用いた需要曲線の例示と図示	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(3)	変化量と変化率： 変化量と変化率の定義と経済学への応用	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(4)	需要の価格弾力性： 需要の価格弾力性の意味、計算方法	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(5)	需要曲線の傾きと価格弾力性： 需要曲線のグラフと価格弾力性の関係	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(6)	ここまでの総復習： 1回目～5回目までの総復習を行う。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(7)	薄利多売と高マージン戦略： 売上最大化と薄利多売・高マージン戦略との関係	予習	中間試験に備える。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(8)	中間試験とその解説： 中間試験（60分）を行った後、解説を行う。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	中間試験の解説を熟読する。

(9)	レディースデーは誰のため？： 特定の消費者に安価で商品を提供する戦略を解説	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(10)	価格差別とその規制： ダンピング規制の是非を解説	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(11)	価格差別以外の目的でのダンピング： 家電、書籍などの価格設定がわかる。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(12)	二部料金制： 基本料金と単位あたり料金の仕組を解説	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(13)	微分を使った説明－価格弾力性： 微分を用いて、価格弾力性を計算する。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(14)	微分を使った説明－売上最大化： 微分を用いて売上最大化を説明する。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(15)	ここまでの総まとめ： 第 7 回～第 14 回の総まとめを行う。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、期末試験に備える。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12611	後期	4	2
授業科目名	日本経済の経済学			学習相談	
英字科目名	Introduction to Macroeconomics			6号館 4F 異研究室	
代表教員名		担当教員名			
異靖昭 (Yasuaki TATSUMI)		異靖昭 (Yasuaki TATSUMI)			
使用テキスト					
後述の参考書の内容で進めますが、講義中は配布のプリントを主に使用します。					
授業の概要					
ここでは国全体の経済を扱うマクロ経済学を学びます。日本経済全体で何が起こっているのかを学び、テレビや新聞の経済ニュースがわかるようになります。毎回講義の後半で、その日の内容の演習問題をを行い、回答の提出をもって出席とします。					
到達目標					
1. 日本経済に関連したニュースの概要が理解できる。 2. 日本経済に関連したキーワードを自分の言葉で説明できる。					
履修上の注意					
毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員（異）に質問して解いたりしても構いません。					
成績評価の方法・基準					
講義中演習問題及び宿題(40%)，中間試験(30%)，期末試験（30%）					
課題に対するフィードバック					
久留米工業大学 e.Campus より、オンラインで出される課題は、e.Campus より得点が確認出来る。中間試験は講義中に返却し解説を行う。					
参考図書	菅原晃『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』				
関連科目	企業と家計の経済学				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (1) 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
		準備学習時間	
(1)	GDP とは： 国内総生産（GDP）の意味を学ぶ	予習	なし
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(2)	GDP の計算： 実際の経済指標から GDP を計算する。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(3)	名目 GDP と実質 GDP・経済成長率： 名目値と実質値について学び、GDP・成長率の名目値実質を計算する。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(4)	GDP の三面等価： 経済の三面（生産・支出・分配）について学ぶ。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(5)	物価： インフレーション・デフレーションの定義とその意味について学ぶ。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(6)	外国為替と貿易： 外国為替とその貿易への影響について学ぶ。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(7)	経済を理解するための簿記のイロハ： 貸借対照表・仕訳帳を通して複式簿記の基本を学ぶ。	予習	中間試験に備える。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題（オンライン or 配布プリント）を解く。
(8)	中間試験とその解説： 中間試験（60分）を行った後、解説を行う。	予習	宿題（オンライン or 配布プリント）を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	中間試験の解説を熟読する。

(9)	国際収支表:貿易・経常・金融収支 : 複式で書かれた国際収支表を読み、貿易・経常・金融収支を計算する。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題 (オンライン or 配布プリント) を解く。
(10)	国内総生産 (GDP) の決定理論 : ケインズ型消費関数、45 度線分析を学ぶ。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題 (オンライン or 配布プリント) を解く。
(11)	有効需要と財政政策の効果 : 財政政策の効果を分析する (政府支出乗数)。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題 (オンライン or 配布プリント) を解く。
(12)	国内総生産(GDP)と利子率との関係 その 1 : IS 曲線 投資関数と IS 曲線について学ぶ。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題 (オンライン or 配布プリント) を解く。
(13)	国内総生産(GDP)と利子率との関係 その 2 : LM 曲線 貨幣需要・供給と LM 曲線について学ぶ。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題 (オンライン or 配布プリント) を解く。
(14)	IS=LM 分析 : 財市場と貨幣市場が均衡する IS=LM 均衡について学ぶ。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、宿題 (オンライン or 配布プリント) を解く。
(15)	ここまでの総まとめ : 中間試験以降の総まとめを行う。	予習	宿題 (オンライン or 配布プリント) を解き、前回の講義の理解を確実にし、予習用課題がある場合はそれを解く。
		復習	講義中プリントを用いて、期末試験対策に備える。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12100	前期	3-6	2
授業科目名	日本国憲法			学習相談	
英字科目名	The Constitution of Japan			各回の授業後に応じる。	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)		西 貴倫(T. NISHI)			
使用テキスト					
加藤一彦『教職教養憲法 15 話〔改訂 3 版〕』北樹出版、2016 年。					
授業の概要					
日本国憲法は公権力行使の基本ルールであり、今日の日本社会を支える重要な柱の一つである。この授業では、憲法は国民の権利保障のためにあるとの観点から、その日本国憲法の定めたルールとはいかなるものか、また日本国憲法の定めたルールはどのように解され、用いられてきたかについて講義する。					
到達目標					
(1)日本国憲法に期待される役割について通説的な立場から説明できるようになる。 (2)日本国憲法が保障する国民の権利について把握する。 (3)日本国憲法が許容する国民の権利の制限について理解する。					
履修上の注意					
初回にオリエンテーションもおこなう。講義の進め方や成績評価の方法について詳しく説明するので必ず出席すること。					
成績評価の方法・基準					
定期試験（70％）とレポート（30％）で総合的に評価する。 レポートでは関連図書（新書程度）についてのコメント（1,200 字程度）を求める。 図書や締切については、オリエンテーションの際に通知する。					
課題に対するフィードバック					
レポート等については、必要に応じて最終講義までにフィードバックする。					
参考図書	佐藤幸治『世界史の中の日本国憲法―立憲主義の史的展開を踏まえて―』左右社、2015 年。 長谷部恭男、杉田敦『これが憲法だ！』朝日新書、2006 年。 芦部信喜『憲法判例を読む』岩波セミナーブックス、1987 年。				
関連科目					
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (1) 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	はじめに【法の性質とその社会的役割について】	予習	テキストの該当箇所（pp.11-18）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(2)	憲法とは何か？【法律と憲法のちがいについて】	予習	テキストの該当箇所（pp.19-23）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(3)	日本国憲法の特徴【歴史的比較と同時代的比較】	予習	テキストの該当箇所（pp.24-27）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(4)	公権力の樹立と分立【権力分立のしくみと目的について】	予習	テキストの該当箇所（pp.111-167）、特に権力分立の箇所（pp.124-125）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(5)	違憲審査の制度【憲法の定めたルールを維持するための工夫について】	予習	テキストの該当箇所（pp.148-158）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(6)	基本的人権の保障【日本国憲法の保障する国民の権利とその保障の範囲について】	予習	テキストの該当箇所（pp.28-38）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(7)	法の下での平等【平等のとらえかたについて】	予習	テキストの該当箇所（pp.39-48）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(8)	精神的自由①【内心の自由について】	予習	テキストの該当箇所（pp.49-61）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(9)	精神的自由②【表現の自由について】	予習	テキストの該当箇所（pp.62-73）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(10)	経済的自由【職業選択の自由や財産権について】	予習	テキストの該当箇所（pp.74-81）に事前に目を通しておくこと。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(11)	人身の自由【日本国憲法の保障する刑事手続について】	予習	テキストの該当箇所（pp.82-89）に事前に目を通しておくこと。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。

(12)	生存権【国民生活の向上における公権力の役割について】	予習	テキストの該当箇所（pp.90-96）に事前に目を通しておくこと。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(13)	労働基本権【労働者の保護における公権力の役割について】	予習	テキストの該当箇所（pp.96-101）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(14)	教育を受ける権利【教育における公権力の役割について】	予習	テキストの該当箇所（pp.102-110）に事前に目を通しておくこと。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。
(15)	おわりに【日本国憲法の意義について】	予習	テキストの該当箇所（pp.168-175）に事前に目を通しておく。
		復習	ノートやテキストの該当箇所を見直す。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12200	前期	1	2
授業科目名	数学基礎			学習相談	
英字科目名	Fundamental Mathematics			3 号 館 1 階 中 嶋 研 究 室 e-mail:ysnaka@kurume-it.ac.jp 6 号 館 4 階 原 研 究 室 e-mail:yuk-hr@kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)		中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)、原 幸範 (Yukinori HARA)、 境 優一 (Yuichi SAKAI)、 小川原 弘士 (Hiroshi OGAWARA)、新甫 洋史 (Hirofumi NIIBO)			
使用テキスト					
岡本和夫著「新版基礎数学」(実教出版)					
授業の概要					
数学における関数の基礎を学び直して、大学数学の入口である基礎数学を概観します。整式、三角関数、指数関数、対数関数などの高校数学で扱う内容を復習しながら、無理なく大学の数学に馴染めるようにします。大学の数学では全体の構造がどうなっているのかを考えることが重要です。そのような観点に立って講義と演習を実施します。					
到達目標					
(1)いろいろな関数（整関数、三角関数、指数関数、対数関数等）の基礎基本を理解し、問題が解ける。 (2)高校までに学んだ事項を振り返り、数学的価値を再確認すると同時に、重要事項を整理できている。 (3)多くの類似した演習問題に取り組むことによって数学的思考力を身に付け、計算力を磨くとともにその問題が意味するところを理解する。					
履修上の注意					
数学では、まず基本事項を理解して、多くの演習問題を解き、理解不足の事項については再確認することが重要です。毎回与える課題は理解を深めるためのものです。諦めないで粘り強く取り組んで期限内に提出してください。					
成績評価の方法・基準					
課題の演習問題（30%）、毎回の確認テスト（20%）、および期末試験（50%）等で総合評価					
課題に対するフィードバック					
(1)講義中に出題した演習問題や確認テストは、講義の最終回までに学び直しておくこと。 (2)期末試験の解答例を学内の掲示板（共通教育科専用掲示板）に掲示するので確認すること。					
参考図書	石村園子著「やさしく学べる基礎数学」（共立出版）				
関連科目	数学基礎 → 微分積分学、線形代数学				
学位授与の方針との関連	知識・理解 技術者に求められる幅広い教養及び工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	数と式(1) 整式の乗法と因数分解	予習	教科書の pp.10～19 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習して重要事項を整理する。
(2)	数と式(2) 整式の除法と分数式	予習	教科書の pp.20～25 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(3)	数と式(3) 実数（有理数、無理数、複素数）	予習	教科書の pp.26～31 および pp.48～53 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(4)	2次関数とグラフ(1) 2次関数	予習	教科書の pp.34～36 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(5)	2次関数とグラフ(2) 2次関数の決定	予習	教科書の pp.37～42 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(6)	2次関数とグラフ(3) 2次関数の最大値・最小値	予習	教科書の pp.43～46 を読んで予習する。
		復習	関数とグラフのまとめ課題プリント問題を解く。
(7)	指数関数と対数関数(1) 指数の拡張	予習	教科書の pp.106～111 を読んで予習する。
		復習	教科書 pp.106 の関連問題を解いて復習する。
(8)	指数関数と対数関数(2) 指数の意味、対数の意味	予習	教科書の pp.110～111 および pp.117～121 を読んで予習する。
		復習	教科書の pp.130 の関連問題を解いて復習する。
(9)	指数関数と対数関数(3) 指数関数と対数関数のグラフ	予習	教科書の pp.112～114 および pp.122～124 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(10)	指数関数と対数関数(4) 指数法則、対数と常用対数	予習	教科書の pp.127～129 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(11)	指数関数と対数関数(5) 対数関数とグラフ	予習	教科書の pp.10～16 を読んで予習する。
		復習	指数と対数のまとめ課題プリントの問題を解き直す。

(12)	三角関数(1) 三角比の拡張	予習	教科書の pp.132～139 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(13)	三角関数(2) 一般角と弧度法	予習	教科書の pp.150～153 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(14)	三角関数(3) 三角比から三角関数	予習	教科書の pp.154～157 を読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、プリントの問題を解き直す。
(15)	三角関数(4) 三角関数とグラフ	予習	教科書の pp.158～162 を読んで予習する。
		復習	三角関数のまとめ課題プリントの問題を解き直す。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12210	後期	2	2
授業科目名	微分積分学			学習相談	
英字科目名	Calculus			授業時に担当者へ相談するか、または基幹教育センターへ。	
代表教員名		担当教員名			
川嶋 克利		川嶋 克利・境 優一・小川原 弘士			
使用テキスト					
『新版微分積分』(岡本和夫監修,実教出版)ISBN: 978-4-407-33248-3					
授業の概要					
1 変数関数の微分・積分を学修します。多項式など演習問題をたくさん解くことによって微分・積分の概念を身に付けていきます。微分・積分の意味や定義が十分理解できるようにします。					
到達目標					
(1) 初等関数の微分が自由にできるようになること。 (2) 面積など定積分の計算が自由にできるようになること。					
履修上の注意					
毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。適宜小テストを実施する。					
成績評価の方法・基準					
期末試験 60%、演習 40%(小テストを含む) で総合評価					
課題に対するフィードバック					
小テストは後日返却するため、各自で誤った箇所を確認し、復習すること。 試験の模範解答を配布ないし掲示する。					
参考図書					
関連科目	数学基礎 → 微分積分学				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (1) 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	関数の極限：関数の極限值と収束・発散	予習	教科書1章1節1,2,3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(2)	微分法(1)：連続関数、平均変化率と微分係数	予習	教科書1章1節3p.18-19 および1章2節1を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(3)	微分法(2)：導関数・積の微分法・商の微分法	予習	教科書1章2節2,3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(4)	微分法(3)：合成関数の微分法・逆関数の微分法	予習	教科書1章2節4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(5)	微分法(4)：三角関数の微分法	予習	教科書1章2節5および1章1節3,p.17を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(6)	微分法(5)：指数・対数関数の微分法	予習	教科書1章2節6および1章1節3,p.16を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(7)	微分法(6)：微分の応用	予習	教科書1章3節を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(8)	積分法(1)：不定積分	予習	教科書2章1節1を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(9)	積分法(2)：不定積分の置換積分	予習	教科書2章1節2,3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(10)	積分法(3)：不定積分の部分積分	予習	教科書2章1節2,3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(11)	積分法(4)：定積分	予習	教科書2章1節4を(余裕があれば2章2節1もざっと)読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。

(12)	積分法(5)：定積分の置換積分法	予習	教科書 2 章 1 節 5 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(13)	積分法(6)：定積分の部分積分法	予習	教科書 2 章 1 節 5 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(14)	積分法(7)：積分法の応用	予習	教科書 2 章 2 節を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(15)	総合演習	予習	教科書 1,2 章を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12240	後期	2	2
授業科目名	線形代数学			学習相談	
英字科目名	Linear Algebra			授業時に担当者へ相談するか、または基幹教育センターへ。	
代表教員名		担当教員名			
境 優一		境 優一			
使用テキスト					
『新版線形代数』(岡本和夫監修,実教出版)ISBN: 978-4-407-32169-2					
授業の概要					
ベクトルや行列について学習する。ほとんど何の知識も仮定せずに講義を行う。線形代数学は工学におけるいろいろな計算の基礎となるものであるため、計算や考え方をしっかりと学んでもらいたい。					
到達目標					
(1) ベクトルに関する基本的な定義を把握し、計算ができるようになる。 (2) 行列に関する基本的な定義を把握し、計算ができるようになる。 (3) 連立一次方程式、逆行列、行列式に関する問題を、行基本変形によって解ける。					
履修上の注意					
毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。適宜小テストを実施する。					
成績評価の方法・基準					
期末試験 60%、演習 40%(小テストを含む) で総合評価					
課題に対するフィードバック					
小テストは後日返却するため、各自で誤った箇所を確認し、復習すること。 試験の模範解答を配布ないし掲示する。					
参考図書					
関連科目	数学基礎 → 線形代数学				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (1) 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	ベクトル(1)：ベクトルの演算と成分表示	予習	教科書1章1節1,2を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(2)	ベクトル(2)：ベクトルの内積、正射影	予習	教科書1章1節3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(3)	ベクトル(3)：位置ベクトル	予習	教科書1章1節4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(4)	ベクトル(4)：空間ベクトルと成分表示	予習	教科書1章2節1,2を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(5)	ベクトル(5)：空間ベクトルの内積と応用	予習	教科書1章2節3,4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(6)	行列(1)：行列の基本演算	予習	教科書2章1節1,2,3,4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(7)	行列(2)：逆行列、転置行列	予習	教科書2章1節5,6を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(8)	連立1次方程式(1)：行列の基本変形、掃き出し法	予習	教科書2章2節1を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(9)	連立1次方程式(2)：行列の階数、逆行列	予習	教科書2章2節2,3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(10)	中間まとめ	予習	教科書1章と2章に再度目を通すこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(11)	行列式(1)：行列式の定義と性質	予習	教科書3章1節1,2を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。

(12)	行列式(2)：行列式の余因子展開	予習	教科書 3 章 1 節 4 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(13)	行列式(3)：行列の積の行列式	予習	教科書 3 章 1 節 5, 3 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(14)	行列式(4)：行列式と逆行列・連立 1 次方程式	予習	教科書 3 章 2 節 1, 2 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(15)	総合演習	予習	教科書 3 章に再度目を通すこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12240	後期	2	2
授業科目名	線形代数学			学習相談	
英字科目名	Linear Algebra			授業時に担当者へ相談するか、または基幹教育センターへ。	
代表教員名		担当教員名			
中村 理央		中村 理央・新甫洋史			
使用テキスト					
『新版線形代数』(岡本和夫監修,実教出版)ISBN: 978-4-407-32169-2					
授業の概要					
ベクトルや行列について学習する。ほとんど何の知識も仮定せずに講義を行う。線形代数学は工学におけるいろいろな計算の基礎となるものであるため、計算や考え方をしっかりと学んでもらいたい。					
到達目標					
(1) ベクトルに関する基本的な定義を把握し、計算ができるようになる。 (2) 行列に関する基本的な定義を把握し、計算ができるようになる。 (3) 連立一次方程式、逆行列、行列式に関する問題を、行基本変形によって解ける。					
履修上の注意					
毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。適宜小テストを実施する。					
成績評価の方法・基準					
期末試験 60%、演習 40%(小テストを含む) で総合評価					
課題に対するフィードバック					
小テストは後日返却するため、各自で誤った箇所を確認し、復習すること。 試験の模範解答を配布ないし掲示する。					
参考図書					
関連科目	数学基礎 → 線形代数学				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (1) 技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	ベクトル(1)：ベクトルの演算と成分表示	予習	教科書1章1節1,2を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(2)	ベクトル(2)：ベクトルの内積、正射影	予習	教科書1章1節3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(3)	ベクトル(3)：位置ベクトル	予習	教科書1章1節4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(4)	ベクトル(4)：空間ベクトルと成分表示	予習	教科書1章2節1,2を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(5)	ベクトル(5)：空間ベクトルの内積と応用	予習	教科書1章2節3,4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(6)	行列(1)：行列の基本演算	予習	教科書2章1節1,2,3,4を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(7)	行列(2)：逆行列、転置行列	予習	教科書2章1節5,6を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(8)	連立1次方程式(1)：行列の基本変形、掃き出し法	予習	教科書2章2節1を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(9)	連立1次方程式(2)：行列の階数、逆行列	予習	教科書2章2節2,3を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(10)	中間まとめ	予習	教科書1章と2章に再度目を通すこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(11)	行列式(1)：行列式の定義と性質	予習	教科書3章1節1,2を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。

(12)	行列式(2)：行列式の余因子展開	予習	教科書 3 章 1 節 4 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(13)	行列式(3)：行列の積の行列式	予習	教科書 3 章 1 節 5, 3 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(14)	行列式(4)：行列式と逆行列・連立 1 次方程式	予習	教科書 3 章 2 節 1, 2 を読んでおくこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。
(15)	総合演習	予習	教科書 3 章に再度目を通すこと。
		復習	授業時に板書ないし配布した演習問題を解いて授業内容を定着させること。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12290	前期	1	2
授業科目名	物理学 I			学習相談	
英字科目名	Physics I			基幹教育センター	
代表教員名		担当教員名			
中村文彦 (Fumihiko NAKAMURA),		中村文彦 (Fumihiko NAKAMURA), 野田常雄 (Tsuneo NODA), 中村理央 (Riou NAKAMURA), 大久保博 (Hiroshi OHKUBO)			
使用テキスト					
「万人の基礎物理学」(学術図書出版)					
授業の概要					
物理学は自然科学の基礎としてもっとも重要な学問分野の一つであり、様々な分野で応用されている。物理学の基礎である力学は、工学分野での基礎でもあり、以降の専門分野において必要不可欠なものとなる。本講義では、現象を数学的手法を用い記述・解明する物理学的な思考を養うことを目的とする。					
到達目標					
(1) 変位・速度・加速度の概念を理解する。 (2) 力の関係を理解し、運動方程式を記述できるようになる。 (3) 仕事とエネルギーの関係を理解する。					
履修上の注意					
理解度を確認するため適宜演習を行うため、関数電卓を持参すること。板書主体で進めるため、専用のノートを用意することが望ましい(ルーズリーフは好ましくない)。					
成績評価の方法・基準					
レポート 20%、小テスト 30%、期末試験 50%で総合評価					
課題に対するフィードバック					
次回の講義中に解説する。質問等は、基幹教育センター等で指導を行う。					
参考図書	新田英雄著「マンガでわかる物理 力学編」(オーム社 2006)				
関連科目	物理学 I → 物理学 II → 物理学実験 → 現代物理学				
学位授与の方針との関連	(知識・理解)(1) 技術者に求められる幅広い教養および物理の基礎知識を身につけている				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	物理学の基礎 I □ 高校と大学の物理の違いを理解 □ 力の概念	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(2)	物理学の基礎 II □ 物理の歴史 □ SI 単位系	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(3)	物理数学 I □ ベクトルの計算（内積・外積・三角関数を含む）	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(4)	物理数学 II □ ベクトル □ 力の釣り合い	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(5)	力学の基礎 I □ 座標系	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(6)	力学の基礎 II □ 平均速度	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(7)	力学の基礎 III □ 瞬間速度と微分	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(8)	物理数学 III □ 微分・積分の概念	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(9)	力学の基礎 IV □ 加速度	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(10)	物理数学 V □ 微分方程式と物体の運動（1次元）	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(11)	力学の基礎 V □ ニュートンの運動方程式と力	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(12)	物理数学 VI □ 微分方程式と物体の運動（2、3次元）	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習

(13)	仕事とエネルギー I □ 仕事の概念の理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(14)	仕事とエネルギー II □ 運動エネルギーと位置エネルギー	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(15)	現代社会における力学 □ 力学的エネルギー □ 力学の適応例と範囲	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12300	後期	2	2
授業科目名	物理学 II			学習相談	
英字科目名	Physics II			基幹教育センター	
代表教員名		担当教員名			
江藤徹二郎(Testujiro ETO)		中村文彦 (Fumihiko NAKAMURA), 江藤徹二郎 (Tetsujiro ETO), 野田常雄 (Tsuneo NODA)			
使用テキスト					
「万人の基礎物理学」(学術図書出版)					
授業の概要					
物理学は自然科学の基礎としてもっとも重要な学問分野の一つであり、様々な分野で応用されている。本講義では、前期(物理学 I/物理学の基礎)の力学に続き、熱力学及び電磁気学についての解説・演習を行う。					
到達目標					
(1) 熱、熱容量、比熱の関係を理解する。 (2) 気体の等温・等圧・等積・断熱変化を理解し、計算できるようになる。 (3) 静電気・電流を理解し、クーロン力やオームの法則の計算ができるようになる。					
履修上の注意					
理解度を確認するため適宜演習を行うため、関数電卓を持参すること。板書主体で進めるため、専用のノートを用意することが望ましい(ルーズリーフは好ましくない)。 履修条件: 前期の物理学 I の成績が A 以上であること。					
成績評価の方法・基準					
レポート 20%、小テスト 30%、期末試験 50%で総合評価					
課題に対するフィードバック					
講義中に出した課題は最終講義までに学生にフィードバックする					
参考図書	原田知広著「マンガでわかる熱力学」(オーム社 2009)				
関連科目	物理学 I → 物理学 II → 物理学実験 → 現代物理学				
学位授与の方針との関連					

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	熱力学とは 熱力学で考慮する変数	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(2)	熱と温度 温度・比熱・熱容量・熱の関係の理解・計算	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(3)	熱平衡と熱量保存 熱の移動についての理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(4)	ボイル・シャルルの法則 気体の変化、状態方程式についての理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(5)	断熱変化 断熱変化での温度変化の理解と計算	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(6)	サイクルと仕事 カルノーサイクルと熱効率についての理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(7)	不可逆過程とエントロピー 不可逆な現象についての理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(8)	演習 熱力学の演習問題を解き、理解を確認	予習	今までの熱力学講義の全体的な復習
		復習	演習問題等を再度解きなおす
(9)	電磁気学の基礎 原子の構造・電気量保存の理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(10)	静電気 電気力の理解・計算	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(11)	電場 電場の概念の理解	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(12)	電位とエネルギー 電位の理解、電気力加速の計算	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(13)	電流と抵抗 I オームの法則を用いた立式	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(14)	電流と抵抗 II キルヒホッフの法則を用いた立式	予習	教科書・参考図書等の該当箇所を予習
		復習	e-learning・演習等での復習
(15)	演習 電磁気学の演習問題を解き、理解を確認	予習	今までの電磁気学講義の全体的な復習
		復習	演習問題等を再度解きなおす

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12320	前期	3	2
授業科目名	物理学実験			学習相談	
英字科目名	Experimental Physics			江藤(徹)研究室 (図書館 1 階) e-mail: teto@kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
江藤 徹二郎 (Tetsujiro ETO)		江藤 徹二郎 (Tetsujiro ETO) 寺下裕俊 (Hirotooshi TERASHITA), 大久保博 (Hiroshi OHKUBO)			
使用テキスト					
物理学実験テキスト(配布)					
授業の概要					
最先端の科学技術の基礎をなし、さらに実際の自然に触れるのが「物理学実験」である。1 年次に修得した物理学の基礎を実際に実験で行うことによって、それらの理解を深める。					
到達目標					
(1) 目の前の物理現象と講義で行った内容との対応を理解する。 (2) 測定機器の原理や扱い方を習得する。 (3) 実験の手順を工夫し考えることで、現象についての理解を深める。					
履修上の注意					
(1) 1 セメスターあたりの受講人数は 20 名程度なので、希望者が多い場合は「物理学Ⅰ」および「物理学Ⅱ」の成績により選抜する。 (2) 実験ノート(ルーズリーフ不可)を必ず用意する。また、電卓・定規・レポート用紙(A4)を必ず持参する。試験は行わないが、レポートの捏造等の実験倫理違反はカンニング行為と同様に処理する。					
成績評価の方法・基準					
予習レポート 20%、実験態度 10%、レポート 70%で総合評価					
課題に対するフィードバック					
各実験は、2 回もしくは 3 回実施した後、レポート作成・提出日を設ける。当提出日までにフィードバックする。					
参考図書	水野善右衛門・三木久夫共著「基礎物理学実験(改訂版)」(培風館)				
関連科目	物理学Ⅰ → 物理学Ⅱ → 物理学実験				
学位授与の方針との関連	技能・表現 (8) 工学分野の総合的な視点と知識を身につけ、多様化する現代社会の諸問題や課題を分析するための知識・技能、情報発信力を有し、地域や国際社会の新しい多様な文化や生活の創造、産業の発展に貢献することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	物理学実験について 実験を行う意義、心構えの理解	予習	本シラバスの記載内容を一読しておくこと。
		復習	実験の概要を把握し、物理学Ⅰ・物理学Ⅱの学習内容を復習する。
(2)	密度測定の予備実験 物質の密度の測定方法、密度の概念の理解	予習	密度の概要について調べておくこと。
		復習	授業の内容を復習し、関連する演習問題を解く。
(3)	重力加速度測定Ⅰ 落下運動による重力加速度の直接測定法の理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(4)	重力加速度測定Ⅱ ボルダの振り子による重力加速度の間接測定法の理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(5)	まとめ・重力加速度測定 間接測定と直接測定の違いの理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(6)	比熱測定Ⅰ 仕事当量、水の比熱の測定法の理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(7)	比熱測定Ⅱ 物質の比熱を測定法の理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(8)	まとめ・比熱測定 比熱が物質ごとに違うことの理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(9)	弾性力測定Ⅰ 剛性率および測定法の理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(10)	弾性力測定Ⅱ ヤング率および測定法、フックの法則の理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	授業の内容を復習し、関連する演習問題を解く。中間試験の復習。
(11)	まとめ・弾性力測定 材料による弾性力の違いの理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。

(12)	電気抵抗測定Ⅰ 電気抵抗の測定原理、抵抗の温度変化の測定法、抵抗の振る舞いの理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(13)	電気抵抗測定Ⅱ ダイオード特性の測定法、抵抗との違いの理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(14)	波動測定(音波共鳴 or 光の屈折) 波動の測定法、波動の振る舞いの理解	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。
(15)	まとめ・電気抵抗と波動 電気・波動についてイメージをつかむ	予習	配布テキストを読んで予習する。
		復習	実験の内容を復習し、レポートにまとめる。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12401	前期	1	1
授業科目名	ベーシックイングリッシュ			学習相談	
英字科目名	Basic English			6号館4F#6407 山田研究室	
代表教員名		担当教員名			
山田 久美 (Kumi YAMADA)		山田 久美 (Kumi YAMADA)			
使用テキスト					
山田・川尻著 Starting Gate: An Introduction to English grammar (南雲堂)					
授業の概要					
中、高校の英語学習で十分に習得できていないと思われる部分を中心に、語彙と文法の基本を理解する。リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能がバランスよく学習できるよう工夫し、本学の学生のレベルと知的興味に合わせた自作テキストを上梓した。理数系学生必須の基本語彙を用いて、科学的文章読解などにも力を入れる。					
到達目標					
1. 日常のコミュニケーションに多用される 1500～2000 語の語彙が理解できる。 2. 実践演習による基礎文法が理解できる。 3. 実用英語が運用できる。					
履修上の注意					
出席及び授業態度を重視する。単語の意味、音読練習、和訳等について十分に予習してくること。記入形式のテキストとなっているので、毎回の板書をきちんとノートにとり、毎回の講義には各自、辞書等を持参すること。					
成績評価の方法・基準					
授業態度 50%，期末試験 50%で総合評価する。					
課題に対するフィードバック					
講義を受け学習したしるしがノートに現れるので、定期的にチェックする。試験の模範解答を掲示する。					
参考図書	適宜支持する。大学受験の際の単語帳などは各自参考にすること。				
関連科目	英語コミュニケーションスキル，英語資格試験等対策講座など				
学位授与の方針との関連	知識・理解 (7) 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	導入：英語の文	予習	英語で自己紹介文を書く
		復習	自己紹介文の修正
(2)	名詞・代名詞・冠詞	予習	Unit1 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit1 の Step3 を解く
(3)	動詞	予習	Unit1 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit1 の Step3 を解く
(4)	5 文型	予習	Unit4 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit4 の Step3 を解く
(5)	助動詞	予習	Unit5 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit5 の Step3 を解く
(6)	時制	予習	Unit6 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit6 の Step3 を解く
(7)	完了形	予習	Unit7 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit7 の Step3 を解く
(8)	不定詞	予習	Unit8 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit8 の Step3 を解く
(9)	動名詞	予習	Unit9 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit9 の Step3 を解く
(10)	分詞	予習	Unit10 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit10 の Step13 を解く
(11)	受動態	予習	Unit11 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit11 の Step3 を解く
(12)	形容詞・副詞・比較	予習	Unit12 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit12 の Step3 を解く
(13)	関係詞	予習	Unit13 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit13 の Step3 を解く
(14)	仮定法	予習	Unit14 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit14 の Step3 を解く
(15)	文構造のまとめ	予習	Unit15 の Step1,2 を解いてくる
		復習	Unit15 の Step13 を解く

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12443	前期	1	1
授業科目名	オーラルイングリッシュ I			学習相談	
英字科目名	Oral English I			6 号 館 4 階 LEE 研 究 室 ; leera@kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
山田久美 (Kumi YAMADA)		リー ・ リチャード (Richard Lee)			
使用テキスト					
Conversations in Class, 3rd Edition By Gerald Talandis Jr. et al.					
授業の概要					
This class will focus on listening and speaking skills necessary for competence in basic everyday English conversation. Students will be expected to study vocabulary related to the topics covered in class as well as speak in class with classmates and thei					
到達目標					
By the end of this course, students will be able to: (1) understand basic vocabulary and expressions used in everyday conversation, (2) use basic skills and strategies in brief English conversations, and (3) improve their English speaking fluency, complex					
履修上の注意					
It is important to come to class on time, with the proper textbook and study materials everyday. Students who have forgotten their textbook will not be able to participate in some class activties and therefore will lose participation points. Students who					
成績評価の方法・基準					
20% Attendance and In-class Participation 20% Vocabulary Quizzes 20% Midterm Assessment 40% Final Assessment					
課題に対するフィードバック					
Weekly quizzes will be checked and returned in a timely manner (these will be used for midterm and final assessment review). Feedback on speaking assessments will be provided after each assessment.					
参考図書	Immediate Conversations 1 by Scott Brown et al, ALMA.Publishing				
関連科目	Oral English -> Oral English for Science and Technology; Intermediate Oral English; etc.				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (7) 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することが出来る。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	Vocabulary Quiz 0: Let's Get Started words and expressions Introduction to the course: Goals, Rules, Grading Textbook: Let's Get Started Unit: 1st time greetings, Overview of Golden Rules & Strategies to be covered this semester.	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 0: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/part-unit/lets-get-started/
		復習	Complete exercises from "Let's Get Started" in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(2)	Vocabulary Quiz 1: Unit 1 Part 1 (words and expressions) Textbook: Unit 1 "Getting Acquainted" Part 1	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 1: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 1 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(3)	Vocabulary Quiz 2: Unit 1 Part 2 (words and expressions) Textbook: Unit 1 "Getting Acquainted" Part 2	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 2: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 1 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(4)	Vocabulary Quiz 3: Unit 1 Part 3 (words and expressions) Textbook: Unit 1 "Getting Acquainted" Part 3	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 3: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 1 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(5)	Vocabulary Quiz 4: Unit 2 Part 1 (words and expressions) Textbook: Unit 2 "Daily Life" Part 1	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 4: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 2 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(6)	Vocabulary Quiz 5: Unit 2 Part 2	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 5: Preview

	(words and expressions) Textbook: Unit 2 “Daily Life” Part 2		vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 2 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(7)	Vocabulary Quiz 6: Unit 2 Part 3 (words and expressions) Textbook: Unit 2 “Daily Life” Part 3	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 6: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 2 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(8)	Mid Term Assessment	予習	Prepare for Mid Term Assessment: Review vocab from Units 1 & 2, Model Sentences, and Sounding Natural Notes
		復習	Prepare for Vocabulary Quiz 7: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
(9)	Vocabulary Quiz 7: Unit 3 Part 1 (words and expressions) Textbook: Unit 3 “Hometown” Part 1	予習	Complete exercises from Unit 3 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 3 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(10)	Vocabulary Quiz 8: Unit 3 Part 2 (words and expressions) Textbook: Unit 3 “Hometown” Part 2	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 8: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 3 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(11)	Vocabulary Quiz 9: Unit 3 Part 3 (words and expressions) Textbook: Unit 3 “Hometown” Part 3	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 9: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 3 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(12)	Lesson 12 Vocabulary Quiz 10: Unit 4 Part 1 (words and expressions) Textbook: Unit 4 “Travel” Part 1	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 10: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 4 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com

(13)	Lesson 13 Vocabulary Quiz 11: Unit 4 Part 2 (words and expressions) Textbook: Unit 4 “Travel” Part 2	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 11: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 4 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(14)	Vocabulary Quiz 12: Unit 4 Part 3 (words and expressions) Textbook: Unit 4 “Travel” Part 3	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 12: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 4 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(15)	Final Assessment	予習	Prepare for Final Assessment: Review vocabulary from Units 1 to 4, Model Sentences, and Sounding Natural Notes
		復習	No review necessary

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12451	後期	4	2
授業科目名	オーラルイングリッシュ II			学習相談	
英字科目名	Oral English II			6 号 館 4 階 LEE 研 究 室 ; leera@kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
リー ・ リチャード (Richard Lee)		リー ・ リチャード (Richard Lee)			
使用テキスト					
Conversations in Class, 3rd Edition By Gerald Talandis Jr. et al.					
授業の概要					
This class will focus on listening, speaking and conversation skills necessary for being competent speakers of English. In addition to vocabulary and expressions, this course will highlight key differences between Japanese and Western cultural speaking st					
到達目標					
By the end of the course, students will be able to (1) understand and use a variety of expressions and vocabulary used in English conversations, (2) understand and use strategies for beginning, extending and ending conversations, and (3) participate in ex					
履修上の注意					
It is important to come to class on time, with the proper textbook and study materials everyday. Students who have forgotten their textbook will not be able to participate in some class activities and therefore will lose participation points. Students who					
成績評価の方法・基準					
20% Attendance and In-class Participation 20% Vocabulary Quizzes 20% Midterm Assessment 40% Final Assessment					
課題に対するフィードバック					
Weekly quizzes will be checked and returned in a timely manner (these will be used for midterm and final assessment review). Feedback on speaking assessments will be provided after each assessment.					
参考図書	Immediate Conversations 1 by Scott Brown et al, ALMA.Publishing				
関連科目	Intermediate Oral English -> Advanced English, etc.				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (7) 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することが出来る。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	Introduction to the course: Goals; Rules; Grading Vocabulary Quiz 0: Unit 5 Part 1 Unit 5: Free Time (Part 1) How was your summer break? Are you happy to be back?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 0: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com/
		復習	Complete exercises from Unit 5 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(2)	Vocabulary Quiz 1: Unit 5 Part 2 (words and expressions) Unit 5: Free Time (Part 2) What do you usually do in your free time? Did you watch a lot of TV during the break?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 1: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 5 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(3)	Vocabulary Quiz 2: Unit 5 Part 3 Unit 5: Free Time (Part 3) Do you have any hobbies? What hobbies would you like to do someday?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 2: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 5 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(4)	Vocabulary Quiz 3: Unit 6 Part 1 Unit 6: Entertainment (Part 1) What kind of music do you like? How often do you go to karaoke? Typical follow-up questions	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 3: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 6 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(5)	Vocabulary Quiz 4: Unit 6 Part 2 Unit 6: Entertainment (Part 2) What kind of movies are you into? What's your favorite movie? Who's your favorite	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 4: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com

	actor? What have you seen recently? What did you think about it?	復習	Complete exercises from Unit 6 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(6)	Vocabulary Quiz 5: Unit 6 Part 3 Unit 6: Entertainment (Part 3) Talking about other forms of entertainment, such as reading, watching TV, playing games, and using social media	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 5: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 6 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(7)	Mid-term Speaking Assessment	予習	Prepare for Midterm Speaking assessment: Review Vocab from Units 5-6, Model Sentences, Sounding Natural Notes
		復習	Prepare for Vocabulary Quiz 6: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
(8)	Vocabulary Quiz 6: Unit 7 Part 1 New: Unit 7: Food (Part 1) What did you have for breakfast this morning? Do you usually have this?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 6: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 7 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(9)	Vocabulary Quiz 7: Unit 7 Part 2 Unit 7: Food (Part 2) What are some foods you like/don't like? Typical follow-up questions	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 7: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 7 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(10)	Vocabulary Quiz 8: Unit 7 Part 3 Unit 7: Food (Part 3) Have you ever tried Kobe beef? Have you ever eaten at a French restaurant? Do you have a favorite restaurant or cafe?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 8: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 7 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com

(11)	Vocabulary Quiz 9: Unit 8 Part 1 Unit 8: The Future (Part 1) Will you be living with your parents five years from now? Would you rather live in Japan or overseas?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 9: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 8 Part 1 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(12)	Vocabulary Quiz 10: Unit 8 Part 2 Unit 8: The Future (Part 2) Do you think it's okay to live together before getting married? What do you think is the best age to get married?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 10: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 8 Part 2 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(13)	Vocabulary Quiz 11: Unit 8 Part 3 Unit 8: The Future (Part 3) What did you want to be when you were ten years younger? What do you want to be now?	予習	Prepare for Vocabulary Quiz 11: Preview vocabulary in the textbook and on the CiC website: http://www.cic-multimedia.com
		復習	Complete exercises from Unit 8 Part 3 in the textbook and review vocabulary at http://www.cic-multimedia.com
(14)	Final Speaking Assessment Day 1	予習	Prepare for final assessment: Review Vocab from Units 5-8, Model Sentences, Sounding Natural Notes
		復習	Prepare for final assessment day 2: Review Vocab from Units 5-8, Model Sentences, Sounding Natural Notes
(15)	Final Speaking Assessment Day 2	予習	Prepare for final assessment: Review Vocab from Units 5-8, Model Sentences, Sounding Natural Notes
		復習	No review necessary

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12380	後期	4	2
授業科目名	英語コミュニケーションスキル			学習相談	
英字科目名	English Communicatio0n Skills			6 号館 4 F # 6407 山田研究室	
代表教員名		担当教員名			
山田 久美 (Kumi YAMADA)		山田 久美 (Kumi YAMADA)			
使用テキスト					
Hiroko Nishikage 他著 Let’ s Go Abroad! (Cengage Learning)					
授業の概要					
英語は世界を繋ぐ国際語であるので、異なった国の人々とのコミュニケーションの手段として積極的にこれを習得し、実用化してこそ意義がある。これから海外へ出る機会も多くなるため、より実践的な場面を想定し、異国の生活文化への理解をも深めつつ、楽しく日常会話のスキルを学ぶ。					
到達目標					
1. 日常のコミュニケーションに多用される 2000～3000 語の語彙が理解できる。 2. 実践演習による実用英語が運用できる。 3. 応用発展的な口語表現が学べる。					
履修上の注意					
出席及び授業態度を重視する。単語の意味、音読練習、和訳等について十分に予習しておくこと。毎回の板書をきちんとノートにとり、講義には各自、辞書等を持参すること。会話練習の際の発話を恥かしがらないで挑戦する気持ちが大事である。					
成績評価の方法・基準					
出席状況 30%, 授業態度（発音練習や口語演習、発表など）20%, 期末試験 50%で総合評価					
課題に対するフィードバック					
テキストの書き込みは定期的にチェックする。試験の模範解答を掲示する。					
参考図書	適宜支持する。大学受験の際の単語帳などは各自参考にすること。				
関連科目	ベーシックイングリッシュ, 英語資格試験等対策講座など				
学位授与の方針との関連	知識・理解 (7) 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習（所要時間）	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	海外旅行実践編：イントロダクション	予習	英語でホストファミリーへの手紙を書く
		復習	手紙の文中の自己紹介文の修正
(2)	機内における会話	予習	Unit1 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit1 の税関申告書の記入
(3)	海外到着	予習	Unit2 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit2 の英文メール問題を解く
(4)	海外の友人とのやり取り	予習	Unit3 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit3 の摂氏と華氏に関する問題を解く
(5)	観光	予習	Unit4 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit4 の観光案内に関する問題を解く
(6)	研修のノウハウを知る	予習	Unit5 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit5 の研修内容に関する問題を解く
(7)	海外での食事	予習	Unit6 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit6 のメニューに関する問題を解く
(8)	体調について	予習	Unit7 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit7 のさまざまな身体症状の英語表現について覚える
(9)	スポーツ観戦	予習	Unit8 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit9 観戦マナーに関する問題を解く
(10)	買い物	予習	Unit10 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit10 のショッピングに関する問題を解く
(11)	ホテルでの会話	予習	Unit10 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit10 の宿泊申込書を記入する
(12)	大学訪問	予習	Unit11 の予習問題を解いてくる
		復習	訪れたい大学の HP の英語のサイトを調べる
(13)	別離	予習	Unit12 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit12 の電子メールを読む
(14)	帰国	予習	Unit13 の予習問題を解いてくる
		復習	Unit13 の最終問題を解く

(15)	講義 Review	予習	これまでの Unit を見直す
		復習	講義を振り返ってノートまとめを見直す

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12430	前期	3	2
授業科目名	科学技術英語			学習相談	
英字科目名	English for Science and Technology			6 号 館 4 階 松 中 研 究 室 e-mail:matunaka@kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
松中 完二 (KANJI MATSUNAKA)		松中 完二(KANJI MATSUNAKA)			
使用テキスト					
棕平 敦他編 Japan’ s Skyline(日本企業の取り組みに学ぶ最新科学技術) (金星堂)					
授業の概要					
有史以来、人間の進化とものづくりの発展は常に共栄関係にあった。本講義では「人間味豊かな産業人」への礎として世界的カリスマ技術者の生き方に触れ、日本企業の技術革新の実話を基に、人間の本能としてのものづくりの欲求と喜び、先哲たちの努力と知恵について、英語を通して学び考える。					
到達目標					
1. 平易な科学技術英文を辞書なしで速読し、理解できるようになる。 2. 不完全な人間による完璧な計算の上に成り立つ美、感性としてのものづくり、芸術としての工学が体感できるレベルを目指す。					
履修上の注意					
・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 ・授業に関係のないおしゃべりやスマホでのゲーム、無断退出など授業中に授業に関係も必要もない行為を注意された場合は原点の対象となります。					
成績評価の方法・基準					
・予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る単語テストを実施するので復習しておくこと。 ・授業中に注意された点も累積して減点対象となります。 ・ペーパーテスト 60%、単語テスト 40%の合算で 100 点満点ですが、授業中の注意により減点されます。					
課題に対するフィードバック					
・予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る単語テストを実施するので復習しておくこと。 ・試験の答案は成績発表後に返却します。					
参考図書	・アイアコッカ『わが闘魂の経営』、 ・松下幸之助『松下幸之助成功の金言 365』 など。				
関連科目	・「オーラル科学技術英語」 ・「ベーシックイングリッシュ」 など				
学位授与の方針との関連	工学部という本学の専門性を活かした地域貢献をもとに、将来的な発展性とグローバル化への対応を見据えて科学技術的な内容を英語で理解できることを目指し、本学の学位授与にふさわしい科目である。				

準備学習時間		予習に 2 時間程度、復習に 2 時間程度確保してください。	
授 業 計 画			
講義内容		準備学習（所要時間）	
(1)	講義の概要について説明。授業回数と授業の進め方について理解する。	予習	初回なので特に必要なし。ただし出席は必須。
		復習	授業初回なので特に必要なし。ただし出席や欠席回数、授業の進め方などの授業の規定についてはしっかりと理解しておくこと。
(2)	第 1 課 Design First! パナソニックの HD カメラの開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 1 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 1 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(3)	第 2 課 Meeting Athletes' Needs エプソンの腕時計型 GPS 開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 2 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 2 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(4)	第 3 課 Seven Years in the Making リクシルの東京駅新装に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 3 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 3 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(5)	第 4 課 MEISTEeR to the Rescue 三菱重工業の災害対策ロボット開発に伴う英文の理解の促進。	予習	第 4 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 4 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(6)	第 5 課 Space Station Science ヤクルトの乳酸菌の宇宙実験に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 5 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 5 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(7)	第 6 課 Driving Control & Safety デンソーの運転自動化の開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 6 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 6 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(8)	第 7 課 Renewing Plastics 三菱電機のプラスチック開発に伴う英文技術文章の理解。	予習	第 7 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 7 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(9)	第 8 課 Directing the Blind 富士通の音声ガイド開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 8 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 8 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。

(10)	第 9 課 Music & Architecture フェスティバルホールの美術館建設に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 9 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 9 課の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(11)	第 10 課 Painless Injections 富士フィルムの新型注射器開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 10 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 10 課の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(12)	第 11 課 Tsunami Defense 大林組の防波堤建設に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 11 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 11 課の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(13)	第 12 課 Improving Business Performance 日立のデータ集積回路開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 12 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 12 課の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(14)	第 13 課 An Efficient refrigerant ダイソンの次世代フロンガス開発に伴う英文技術文章の理解の促進。	予習	第 13 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 13 課の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(15)	総括。これまでの授業の内容理解の確認と全体のまとめ。試験対策。	予習	これまでの全授業の内容を見直し、確認しておくこと。
		復習	試験に向けて合格点が取れるよう、これまでの全授業の内容を確認しておくこと。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12370	後期	2	1
授業科目名	オーラル科学技術英語			学習相談	
英字科目名	Oral English for Science and Technology			6 号 館 4 階 松 中 研 究 室 e-mail:matunaka@cc.kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
松中 完二 (kanji MATSUNAKA)		松中 完二(kanji MATSUNAKA)			
使用テキスト					
Asking Why? The Science of Everyday Life (金星堂)					
授業の概要					
日常に転がる身近な不思議を取り上げ、英文で書かれた科学技術の観点から解答を与える。そこでの語彙と表現を基に、英語の読み、書き、話し、聴く、の 4 技能の向上を図る。					
到達目標					
1. 英語の基礎文法並びに、平易な科学技術英語が理解出来る。 2. 工業英検 3 級、準 2 級、TEP TEST3 級、2 級合格に対応した英語の基礎力をつける。					
履修上の注意					
・出席回数、授業参加の態度が最重要。 ・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 ・授業に関係のないおしゃべりやスマホでのゲーム、無断退出など授業中に授業に関係も必要もない行為を注意された場合は減点の対象となります。					
成績評価の方法・基準					
・予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る単語テストを実施するので復習しておくこと。 ・授業中に注意された点も累積して減点対象となります。 ・ペーパーテスト 60%、単語テスト 40%の合算で 100 点満点ですが、授業中の注意により減点されま す。					
課題に対するフィードバック					
・毎回授業の最初に前回授業内容に係る内容理解のテストを実施するので復習しておくこと。 ・試験の答案は成績発表後に返却します。					
参考図書	『マスターしておきたい技術英語の基本』カウエル・錦共著 (コロナ社)				
関連科目	「科学技術英語」、「オーラルイングリッシュ」など				
学位授与の方針との関連	工学部という本学の専門性を活かした地域貢献をもとに万人の科学への興味を引くことを念頭に置きながら、専門性とあわせて一般性を見据えて科学的な内容を英語で理解し説明できることを目指し、本学の学位授与にふさわしい科目である。				

準備学習時間			
授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	講義の概要について説明。授業回数と授業の進め方について理解する。	予習	初回なので特に必要なし。ただし出席は必須。
		復習	授業初回なので特に必要なし。ただし出席や欠席回数、授業の進め方などの授業の規定についてはしっかりと理解しておくこと。
(2)	第1課 Why People Have Eyelashes? まつげの機能と理由について解説し、理解を目指す。	予習	第1課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第1課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(3)	第2課 Why Pepper Make Sneeze? 鼻の粘膜の機能と理由について解説し、理解を目指す。	予習	第2課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第2課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(4)	第3課 Why Do We Fall in Love? 人間が恋に落ちるメカニズムについて解説し、理解を目指す。	予習	第3課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第3課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(5)	第4課 Why Can't We Cure a Cold? 人間が風邪を引くメカニズムについて解説し、理解を目指す。	予習	第4課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第4課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(6)	第5課 Why Is the Number 7 Lucky? 数字の持つ不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第5課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第5課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(7)	第6課 Why Our Hair Turn Gray? 白髪のメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第6課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第6課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(8)	第7課 Why Is the Sea Salty? 海水がしょっぱいメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第7課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第7課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(9)	第8課 Why Do Women Live Longer? 女性が長生きであるメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第8課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第8課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。

			っかり理解しておくこと。
(10)	第 9 課 Why Spider Webs So Strong? 蜘蛛の巣のメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第 9 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 9 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(11)	第 10 課 Why Do We Dream? 夢を見るメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第 10 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 10 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(12)	第 11 課 Why Do Bugs Fly into Light? 昆虫が光に寄り付くメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第 11 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 11 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(13)	第 12 課 Why Do We Forget Things? 物忘れのメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第 12 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 12 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(14)	第 13 課 Why Is the Sky Blue? なぜ空は青いのか、そのメカニズムと不思議について解説し、理解を目指す。	予習	第 13 課の単語テストの該当箇所を学習し、単語を暗記しておくこと。
		復習	第 13 課の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(15)	総括。これまでの授業の内容理解の確認と全体のまとめ。試験対策。	予習	これまでの全授業の内容を見直し、確認しておくこと。
		復習	試験に向けて合格点が取れるよう、これまでの全授業の内容を確認しておくこと。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12390	後期集中	3-4 (2 年次)	2
授業科目名	上級オーラルイングリッシュ			学習相談	
英字科目名	Advanced Oral English			6 号館 4 F # 6407 山田研究室	
代表教員名		担当教員名			
山田 久美(Kumi YAMADA)		山田 久美(Kumi YAMADA)			
使用テキスト					
自作テキスト					
授業の概要					
英字新聞記事,インターネットの英語ニュースなどを取り上げ、上級英語向け語彙の習得や会話文、長文の聞き取りなどを中心に総合的な英語力向上に努める。					
到達目標					
1. 実践的、かつ就業に有効な英語が理解できるようになる。 2. TOEIC(TOEFL)や資格試験の受験における自己高得点が獲得できる。 3. 海外の主な出来事の最新情報を得ることができる。					
履修上の注意					
辞書（もしくはそれに相当するもの）必携。遅刻欠席は不可。講義態度も評価の対象となる。積極的に発言することを求められる。					
成績評価の方法・基準					
受講態度(50%)と最終レポート(50%)で総合評価する。					
課題に対するフィードバック					
学生の目の前でスペルミスなどをチェックし問題点を指摘する。					
参考図書	Nancy Douglas & David Bohlke. Reading Explorer 3, Second Edition. Cengage Learning				
関連科目	オーラルイングリッシュ I, オーラルイングリッシュ II, 英語コミュニケーションスキル, 英語資格試験等対策講座				
学位授与の方針との関連	知識・理解 (7) 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	Introduction	予習	Finding out what you are interested in.
		復習	Guidance Check : Rereading today's print
(2)	1 Sports and Fitness	予習	Developing critical approaches
		復習	Developing critical approaches : Rereading today's print
(3)	2 Skin Deep	予習	Find out concerning issues around your life
		復習	Rereading today's print
(4)	3 Animals in Danger	予習	Thinking deeply about your environment
		復習	Thinking deeply about your environment : Rereading today's print
(5)	4 Violent Earth	予習	Making the list what you did after the earthquake
		復習	Rereading today's print
(6)	Reflection of Course	予習	Read carefully today's text
		復習	Rereading today's print
(7)	5 Island and Beaches	予習	Imagine a beach where you want to go
		復習	Rereading today's print
(8)	6 Success and Failure	予習	Thinking about your own success and failure
		復習	Thinking about your own success and failure : Rereading today's print
(9)	7 Global Addictions	予習	Paraphrasing/summarizing and citations
		復習	Paraphrasing/summarizing and citations : Rereading today's print
(10)	8 Epic Engineering	予習	creative writing
		復習	creative writing : Rereading today's print

(11)	9 Far out	予習	Background to writing
		復習	Background to writing : Rereading today's print
(12)	10 All in the Mind	予習	Reading: finding suitable sources
		復習	Reading: finding suitable sources : Rereading today's print
(13)	11 Art and Life	予習	Reading: developing critical approaches
		復習	Reading: developing critical approaches : Rereading today's print
(14)	12 Medical Challenges	予習	Finding key points and notemaking
		復習	Finding key points and notemaking : Rereading today's print
(15)	Conclusion	予習	Considering the summary of the class
		復習	Repeat the texts

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12650	前期	5	2
授業科目名	英語資格試験等対策講座			学習相談	
英字科目名	Special English for English Qualification Examinations			6 号館 4 階 松中研究室 e-mail: matunaka@kurume-it.ac.jp	
代表教員名		担当教員名			
松中 完二 (KANJI MATSUNAKA)		松中 完二 (KANJI MATSUNAKA)			
使用テキスト					
プリント教材					
授業の概要					
英語は国際語として世界中の人々とのコミュニケーションの道具だけでなく、昨今は企業や社会から就職の武器として、または昇進の条件として求められることが少なくない。本講座では英語の文法とリスニングを基礎から重点的に学び、英検取得や TOEIC のスコアアップを目指します。					
到達目標					
1. 基礎語彙、基本文法復習し、英検 3 級、TOEIC スコア 350 レベルから更に上位の得点の取得を目指す。 2. 想定される日常の色々な場面で必要とされる会話ができるレベルを目指す。					
履修上の注意					
・出席回数、授業参加の態度が最重要。 ・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 ・授業に関係のないおしゃべりやスマホでのゲーム、無断退出など授業中に授業に関係も必要もない行為を注意された場合は原点の対象となります。					
成績評価の方法・基準					
・予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと。 ・授業中に注意された点も累積して減点対象となります。 ・ペーパーテスト 100%で授業中の発表なども加味します。ただし授業中の注意により減点されます。					
課題に対するフィードバック					
・毎回授業の最初に前回授業内容に係る内容理解のテストを実施するので復習しておくこと。 ・試験の答案は成績発表後に返却します。					
参考図書	・井上久美『基礎からわかる！中学 3 年生の英語』（日本能率協会マネジメントセンター）など。				
関連科目	「英語コミュニケーションスキル」、「オーラルイングリッシュ」など。				
学位授与の方針との関連					

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	Introduction 英検、TOEIC について説明。授業の進め方の説明。	予習	初回なので特に必要なし。ただし出席は必須。
		復習	授業初回なので特に必要なし。ただし出席や欠席回数、授業の進め方などの授業の規定についてはしっかりと理解しておくこと。
(2)	Unit 1 ファッションとショッピングの場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 1 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 1 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(3)	Unit 2 レストランなど外食の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 2 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 2 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(4)	Unit 2 趣味や娯楽の会などの場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 3 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 3 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(5)	Unit 4 住まいと家庭生活の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 4 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 4 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(6)	Unit 5 メディアなど公共電波の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 5 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 5 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(7)	Unit 6 旅行と空港の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 6 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 6 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(8)	Unit 7 ホテルなど旅先の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 7 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 7 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。
(9)	Unit 8 天気などの日常の挨拶場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 8 の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 8 の学習内容と練習問題をしっかりと理解しておくこと。

(10)	Unit 9 学校など教育の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 9の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 9の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(11)	Unit 10 フィットネスクラブなど健康促進の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 10の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 10の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(12)	Unit 11 病院など医療関係の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 11の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 11の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(13)	Unit 12 出張などビジネスの場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 12の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 12の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(14)	Unit 13 生産と販売など、工場や流通の場面で話される内容の理解と練習。	予習	Unit 13の該当箇所を学習し、新出単語などを暗記しておくこと。
		復習	Unit 13の学習内容と練習問題をしっかり理解しておくこと。
(15)	総括。これまでの授業の内容理解の確認と全体のまとめ。試験対策。	予習	これまでの全授業の内容を見直し、確認しておくこと。
		復習	試験に向けて合格点が取れるよう、これまでの全授業の内容を確認しておくこと。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12620	前期	5-8	2
授業科目名	韓国語			学習相談	
英字科目名	Korean			E-mail:shinhojp@gmail.com	
代表教員名		担当教員名			
申 鎬 (Ho SHIN)		申 鎬 (Ho SHIN)			
使用テキスト					
自作テキスト					
授業の概要					
韓国語は、語順や発音など、もっとも日本語と類似している言葉です。従って、日本語を母国語とする学習者にとっては、非常に勉強しやすい言語と言えます。本講義では、主に初めて韓国語に接する受講生を対象に、①基礎的な韓国語の仕組みを理解してもらうとともに、②正しい韓国語の発音を見に付けることを目標とします。なお、③旅行などで使えるように、日常の挨拶、簡単な旅行会話、自己紹介など、実践的な会話の練習を行います。必要に応じては、韓国文化・歴史などを紹介しながら、韓国社会の理解に繋がる授業を目指します。					
到達目標					
(1) 日本語との共通点や相違点を踏まえて、韓国語の仕組みを理解できるようになる。 (2) ハングル文字とその発音に慣れ親しみ、単語などをゆっくり読めるようになる。 (3) 日常の挨拶及び簡単な旅行会話を適切に使えるようになる。 (4) 韓国語で自己紹介ができるようにする。					
履修上の注意					
予習と復習を行うこと。出席及び授業態度を重視する。					
成績評価の方法・基準					
平常点（出席及び授業態度）40%、期末テスト 60%					
課題に対するフィードバック					
課題等に関しては、毎週講義時に示唆する フィードバックは適宜行う					
参考図書	『入門韓国語(速習編)』申鎬著 花書院				
関連科目	中国語等（第二外国語）。毎年6月と11月にハングル能力検定試験有り。挑戦してみましよう！				
学位授与の方針との関連	（知識・理解）（7）言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することが出来る。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	韓国語の仕組みを知る	予習	韓国語の映画を観るなどしておく
		復習	韓国語の仕組みを知る問題プリント
(2)	文字と発音（1） 基本母音字と拗母音字の学習	予習	基本母音字と拗母音字の学習を知る課題を考える
		復習	基本母音字と拗母音字の学習問題プリント
(3)	文字と発音（2） 基本子音字の学習	予習	基本母音字と基本子音字の違いについて学習
		復習	基本子音字の学習問題プリント
(4)	文字と発音（3） 二重母音字の学習	予習	基本子音字と二重母音字の違いについて学習
		復習	二重母音字の学習の学習プリント
(5)	文字と発音（4） 激音字と濃音字の学習	予習	二重母音字と 激音字と濃音字の違いについて学習
		復習	激音字と濃音字の学習プリント
(6)	文字と発音（5） 終声字の学習	予習	これまでの文字と終声字の違いについて学習
		復習	終声字の学習プリント
(7)	文字総括：これまでの学習内容を復習する。	予習	これまで学んだ文字について学習
		復習	文字総括のプリント類の総復習
(8)	基本会話（1） 基本的な挨拶表現の学習	予習	基本的な挨拶について考えて表を作成する
		復習	基本的な挨拶表現の学習プリント
(9)	基本会話（2） 丁寧表現の学習	予習	基本的な挨拶と丁寧な挨拶の違いについて考え対照表を作成する
		復習	丁寧な挨拶表現の学習プリント
(10)	基本会話（3） 否定表現の学習	予習	肯定表現と否定表現の違いについて学習
		復習	否定表現の学習プリント
(11)	基本会話（4） 疑問詞・疑問文の学習	予習	一般的な肯定文と疑問詞・疑問文の違いについて学習
		復習	疑問詞・疑問文の学習プリント
(12)	基本会話（5） □ 数字・時間表現の学習	予習	数字・時間表現にはどのようなものがあるかについて学習
		復習	数字・時間表現の学習プリント

(13)	自己紹介文を書く : 自己紹介を試みる	予習	日本語での自己紹介を考える学習
		復習	自己紹介をピア・ワーカー同士で試みる
(14)	総括 : これまでの学習内容を復習する	予習	これまでの学習内容を分析し、理解不足な点をまとめる学習
		復習	これまでの学習内容を復習するプリント
(15)	韓国を知る : 韓国映画を見る	予習	これまでに観た韓国映画、これから観たい韓国映画のリスト作成の学習
		復習	これまでの学習を総括し、韓国旅行に行く計画を立ててみる

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12480	前期	5-8	2
授業科目名	中国語			学習相談	
英字科目名	Chinese			講義後、質疑に対応する。	
代表教員名		担当教員名			
管 虹 (Guan HONG)		管 虹 (Guan HONG)			
使用テキスト					
李 偉・管 虹著『1回1課 サクセス中国語』 (白帝社)					
授業の概要					
中国語の発音、基本文法・文型を学び、理解した上で、挨拶・自己紹介など中国語での簡単な会話をマスターする。					
到達目標					
・ 中国語の発音体系を把握することができる。 ・ 中国語で自己紹介することができる。 ・ 中国語で簡単な挨拶ができる。 ・ 中国語で簡単な日常会話ができる。					
履修上の注意					
毎回出席を取る。授業中に無断早退するのを欠席とする。					
成績評価の方法・基準					
平常点 40% (小テスト+協同学習の参加意欲) 期末試験 60%					
課題に対するフィードバック					
小テストを実施する。次回に解説する。					
参考図書	なし				
関連科目	韓国語など				
学位授与の方針との関連	(知識・理解) (7) 言語力、コミュニケーション力およびプレゼンテーション力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することが出来る。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	発音(1) 中国語に関する基礎知識・単母音・声調・軽声	予習	協同学習についての説明・グループ分け・グループメンバーの自己紹介
		復習	単母音・声調・軽声を復習する
(2)	子音	予習	子音を予習する
		復習	単母音・子音を復習する
(3)	複合母音・鼻母音	予習	複母音・鼻母音を復習する
		復習	中国語発音全体を復習する
(4)	第1課 你是日本人吗? 人称代名詞・断定の表現・語気助詞“吗”“呢”	予習	第1課を予習する
		復習	第1課の単語・文法・会話文を復習する
(5)	第2課 你是不是留学生? 反復疑問文・構造助詞“的”・語気助詞“吧”	予習	第2課を予習する
		復習	第2課の単語・文法・会話文を復習する
(6)	第3課 你们是哪个学院的学生? 指示代名詞・疑問詞疑問文	予習	第3課を予習する
		復習	第3課の単語・文法・会話文を復習する
(7)	中国語発音の総まとめと復習・第1～3課の文法項目の復習	予習	中国語発音を復習する・第1～3課を復習する
		復習	第1～3課の会話文を日本語に訳す
(8)	第4課 你吃什么? 動詞述語文・語気助詞“吧”②	予習	第4課を予習する
		復習	第4課の単語・文法・会話文を復習する
(9)	第5課 我来介绍一下 二重目的語文・“来”・“一下”の用法	予習	第5課を予習する
		復習	第5課の単語・文法・会話文を復習する
(10)	第6課 你家有几口人? 所有の表現・数量の表現	予習	第6課を予習する
		復習	第6課の単語・文法・会話文を復習する
(11)	第4～6課の総復習	予習	第4、5、6課の文法を復習する
		復習	第4、5、6課の会話文を日本語に訳す
(12)	第7課 这是什么地方? 場所代名詞・存在の表現①	予習	第7課を予習する
		復習	第7課の単語・文法・会話文を復習する

(13)	第 8 課 你现在在哪儿？ 方位詞・存在の表現②	予習	第 8 課を予習する
		復習	第 8 課の単語・文法・会話を復習する
(14)	第 9 課 汉语难吗？ 形容詞述語文・主述述語文	予習	第 9 課を予習する
		復習	第 9 課の単語・文法・会話を復習する
(15)	第 7、8、9 課の総復習	予習	第 7、8、9 課の文法を復習する
		復習	第 7、8、9 課の会話を日本語に訳す

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12500	前期	1	1
授業科目名	生涯スポーツⅠ			学習相談	
英字科目名	Physical EducationⅠ			体育館1階 中島研究室 体育館1階 吉谷研究室	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YASHITANI)		中島 正信 (Masanobu NAKASHIMA)・吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)			
使用テキスト					
テキストは使用しない					
授業の概要					
個々人の体力に応じて、友人とのコミュニケーションを取りつつ、準備から後片付けまで協力しながら、バレーボールの基礎的技能から応用的技能の習得を図る。					
到達目標					
(1)バレーボールの基礎的な技術をゲームの中で発揮できる。 (2)バレーボールの基本的なルールがわかる。 (3)友人と協力しながら、バレーボールのゲームを運営できる。					
履修上の注意					
スポーツに適さない服装の場合、見学または欠席とする。受講生が多数の場合は、一部の学生に対して、「生涯スポーツⅡ」または「生涯スポーツⅢ」の内容（種目）を実施する場合がある。					
成績評価の方法・基準					
基本的技能の向上（30%）、応用的技能の向上（20%）、ルールの理解（20%）、協力し合いながら練習やゲームを運営する態度（30%）を総合して評価する。					
課題に対するフィードバック					
課題を課した授業の中でフィードバックする。					
参考図書	寫宗浩二著「ぐんぐんうまくなるバレーボール」（ベースボールマガジン社）				
関連科目	生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅢ、生涯スポーツⅣ、健康科学				
学位授与の方針との関連	技能・表現：瞬時の判断を表現できる 関心・意欲・態度：集団で一つの事に関心を持ち、協力し合いながら意欲的に実践できる				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	オリエンテーションー授業の進め方や評価方法ー 全般を通しての授業の進め方や評価方法の、注意事項等の説明	予習	スポーツウェア等を準備しておく
		復習	普段からの体調の整え方を復習する
(2)	パスとトスⅠ オーバーハンドパスを中心に、パスとトスの実践	予習	オーバーハンドパスの要点を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(3)	パスとトスⅡ アンダーハンドでのレシーブとトスの実践	予習	アンダーハンドでボールをコントロールする場合の要点を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(4)	パスとトスⅢ バックパスを中心に、パスとトスの実践	予習	バックでのボールコントロールの要点を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(5)	レシーブⅠ 正面でのレシーブを中心に実践	予習	ある程度速い球に対応する時の留意点を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(6)	レシーブⅡ 移動してのレシーブを中心に実践	予習	移動してのレシーブの種類を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(7)	サーブのいろいろ 数種類のサーブの仕方を実践	予習	サーブの種類を予習する
		復習	自分に合ったサーブの仕方を振り返る
(8)	スパイクとブロックⅠ オープンスパイクを中心に実践	予習	オープンスパイクの要点を予習する
		復習	自分に合ったスパイクの仕方を振り返る
(9)	スパイクとブロックⅡ オープンスパイクへの対応の仕方を中心に実践	予習	オープンスパイクへの対応の仕方を予習する
		復習	相手の動きの見方を復習する
(10)	フォーメーション ポジショニングと役割	予習	基本的なルールを予習する
		復習	基本技術の観点からゲーム内容を振り返る

(11)	リーグ戦Ⅰ 基本的な技能を生かしてのゲーム	予習	基本的なルールを予習する
		復習	基本技術の観点からゲーム内容を振り返る
(12)	リーグ戦Ⅱ 応用的な技能を生かしてのゲーム	予習	詳細なルールを予習する
		復習	個人的な応用技術の観点からゲーム内容を振り返る
(13)	リーグ戦Ⅲ フォーメーションを考えてのゲーム	予習	各ポジションの役割を予習する
		復習	役割分担の観点からゲーム内容を振り返る
(14)	リーグ戦Ⅳ 基本的な運営を含めたゲームの実践	予習	ゲームの総合的な運営の仕方を予習する
		復習	運営面からゲームを振り返る
(15)	リーグ戦Ⅴ 審判・総合的な運営を含めたゲームの実践	予習	審判法を予習する
		復習	審判法の観点からゲームを振り返る

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12510	後期	2	1
授業科目名	生涯スポーツⅡ			学習相談	
英字科目名	Physical Education Ⅱ			体育館 1 階 中島研究室 体育館 1 階 吉谷研究室	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YASHITANI)		中島 正信 (Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)			
使用テキスト					
テキストは使用しない					
授業の概要					
クラスやチーム内で、相互の生活習慣に関する情報交換を行いつつ、ソフトボールの基本的技能から応用的技能の習得を図る中で、スポーツ全般の組織・運営を行う組織力の習得を図る。					
到達目標					
(1)ソフトボールの基礎的な技術をゲームの中で発揮できる。 (2)日頃から生活習慣に留意できる。 (3)組織・運営を含めて運動が楽しめる。					
履修上の注意					
スポーツに適さない服装の場合、見学または欠席とする。受講生が多数の場合は、一部の学生に対して、「生涯スポーツⅠ」または「生涯スポーツⅢ」の内容（種目）を実施する場合がある。					
成績評価の方法・基準					
基本的技能の向上（20%）、応用的技能の向上（20%）、ルールの理解（20%）、適切な生活習慣の維持（20%）、スポーツの組織力（20%）を総合して評価する。					
課題に対するフィードバック					
課題を課した授業の中でフィードバックする。					
参考図書	利根川勇著「ぐんぐんうまくなるソフトボール」（ベースボールマガジン社）				
関連科目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅢ、生涯スポーツⅣ、健康科学				
学位授与の方針との関連	技能・表現：瞬時の判断を表現できる 関心・意欲・態度：一つの事を協力し合いながら、意欲的に組織・運営・実践できる				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	オリエンテーションー授業の進め方や評価方法ー 全般を通しての授業の進め方や評価方法の、注意事項等の説明	予習	スポーツウェア等を準備しておく
		復習	普段からの体調の整え方を復習する
(2)	スローイングとキャッチングⅠ オーバーハンドスローとその捕球を中心に実践	予習	グラブの使い方とボールの握り方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(3)	スローイングとキャッチングⅡ ステップからの捕球・投球を中心に実践	予習	捕球時のステップを予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(4)	スローイングとキャッチングⅢ ゴロの捕球からの投球を中心に実践	予習	ゴロ捕球時の留意点を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(5)	スローイングとキャッチングⅣ フライ・ライナーの捕球からの投球を中心に実践	予習	フライとライナー捕球時の要点を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(6)	バッティングⅠ バットの振り方とボールの捉え方を中心に実践	予習	バットの握り方と立ち方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(7)	バッティングⅡ ステップを使ったバッティングを中心に実践	予習	ステップとスウィングの仕方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(8)	バッティングⅢ バントを中心に実践	予習	バントの種類を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(9)	ベースランニング ヒッティングからのベースランニングを中心に実践	予習	走塁コースを予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(10)	ピッチング 基本的なピッチングを中心に実践	予習	基本的なピッチングの仕方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る

(11)	リーグ戦Ⅰ 基本的な技能を生かしてのゲーム	予習	基本的なルールを予習する
		復習	基本技術の観点からゲーム内容を振り返る
(12)	リーグ戦Ⅱ 応用的な技能を生かしてのゲーム	予習	詳細なルールを予習する
		復習	個人的な応用技術の観点からゲーム内容を振り返る
(13)	リーグ戦Ⅲ 様々な戦術を交えてのゲーム	予習	各ポジションの役割を予習する
		復習	役割分担の観点からゲーム内容を振り返る
(14)	リーグ戦Ⅳ 基本的な運営を含めたゲームの実践	予習	ゲームの総合的な運営の仕方を予習する
		復習	運営面からゲーム内容を振り返る
(15)	リーグ戦Ⅴ 審判・総合的な運営を含めたゲームの実践	予習	審判法を予習する
		復習	審判法の観点からゲーム内容を振り返る

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12520	前期	3	1
授業科目名	生涯スポーツⅢ			学習相談	
英字科目名	Physical Education Ⅲ			体育館 1 階 中島研究室 体育館 1 階 吉谷研究室	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YASHITANI)		中島 正信 (Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)			
使用テキスト					
テキストは使用しない					
授業の概要					
食生活・休養の確保といった生活習慣の向上を図りつつ、少人数でも身近に行いやすい、バドミントン、卓球の基本的な技術や戦術を習得する中で、自ら工夫して、より良い運動生活の実践力の向上を図る。					
到達目標					
(1)バドミントン・卓球の基礎的な技術をゲームの中で発揮できる。 (2)少人数でも工夫して運動が実践できる。 (3)定期的に運動が実践できる。					
履修上の注意					
スポーツに適さない服装の場合、見学または欠席とする。1 コマ当たりの受講可能人数を 50 名とし、受講希望者多数の場合は、上学年の者を優先の上、抽選を行う場合がある。					
成績評価の方法・基準					
基本的技能の向上 (20%)、応用的技能の向上 (20%)、ルールの理解 (20%)、適切な生活習慣の維持 (20%)、スポーツの組織力 (20%) を総合して評価する。					
課題に対するフィードバック					
課題を課した授業の中でフィードバックする。					
参考図書	中田稔著「基礎からのバドミントン」(ナツメ社) 西村卓二著「ぐんぐんうまくなる卓球」(ベースボールマガジン社)				
関連科目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅣ、健康科学				
学位授与の方針との関連	技能・表現：瞬時の判断を表現できる 関心・意欲・態度：関心のある運動を、状況に応じて工夫して実践できる				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	オリエンテーションー授業の進め方や評価方法ー	予習	スポーツウェア等を準備しておく
	全般を通しての授業の進め方や評価方法の、注意事項等の説明	復習	普段からの体調の整え方を復習する
(2)	バドミントンⅠ 自由に乱打を試みる	予習	ラケットの持ち方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(3)	バドミントンⅡ 様々なストロークの実践	予習	ストロークの種類を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(4)	バドミントンⅢ サーブとスマッシュを中心に実践	予習	サーブとスマッシュの仕方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(5)	バドミントンⅣ シングルス戦を実施	予習	シングルのルールを予習する
		復習	基本技術の観点からゲーム内容を振り返る
(6)	バドミントンⅤ シングルス戦を実施	予習	シングルの基本的な戦術を予習する
		復習	基本的戦術の観点からゲーム内容を振り返る
(7)	バドミントンⅥ ダブルス戦を実施	予習	ダブルスのルールを予習する
		復習	基本的戦術の観点からゲーム内容を振り返る
(8)	バドミントンⅦ ダブルス戦を実施	予習	ダブルスの基本的な戦術を予習する
		復習	相互補完の観点からゲーム内容を振り返る
(9)	卓球Ⅰ 自由に乱打を試みる	予習	ラケットの持ち方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(10)	卓球Ⅱ サーブとレシーブ	予習	フォアハンドのサーブとレシーブの仕方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る
(11)	卓球Ⅲ バックハンドの打ち方	予習	バックハンドハーフボレーの仕方を予習する
		復習	巧くできた点、できなかった点を振り返る

(12)	卓球Ⅳ シングルス戦を実施	予習	シングルのルールを予習する
		復習	個人的な基本技術の観点からゲーム内容を振り返る
(13)	卓球Ⅴ シングルス戦を実施	予習	シングルの基本的な戦略を予習する
		復習	基本戦略の観点からゲーム内容を振り返る
(14)	卓球Ⅵ ダブルス戦を実施	予習	ダブルスのルールを予習する
		復習	基本的戦術の観点からゲームの内容を振り返る
(15)	卓球Ⅶ ダブルス戦を実施	予習	ダブルスでの動き方を予習する
		復習	相互補完の観点からゲームを振り返る

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12530	後期	6	1
授業科目名	生涯スポーツⅣ			学習相談	
英字科目名	Physical Education Ⅳ			体育館 1 階 中島研究室 体育館 1 階 吉谷研究室	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)		中島 正信 (Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)			
使用テキスト					
テキストは使用しない					
授業の概要					
食生活・休養の確保といった生活習慣の向上を図りつつ、一人でも身近に行いやすい、エアロビックダンス系の運動を実践する中で、自ら工夫して、より良い運動生活の実践力の向上を図る。					
到達目標					
(1)エアロビックダンス系の基礎的な動きができる。 (2)一人でも工夫して運動が実践できる。 (3)定期的に運動が実践できる。					
履修上の注意					
スポーツに適さない服装の場合、見学または欠席とする。1 コマ当たりの受講可能人数を 30 名とし、受講希望者多数の場合は、女子を優先の上、抽選を行う場合がある。本科目は新規開講科目であるため、担当教員が変更になる場合がある。また、担当教員が変更になった場合、授業計画が見直される場合がある。					
成績評価の方法・基準					
授業に取り組む姿勢・態度（40%）、基本的技能の向上（30%）、適切な生活習慣の維持（30%）、を総合して評価する。					
課題に対するフィードバック					
課題を課した授業の中でフィードバックする。					
参考図書	横山格郎著「ストレッチ 100 の基本」（エイムック社）				
関連科目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅢ、健康科学				
学位授与の方針との関連	技能・表現：瞬時の判断を表現できる 関心・意欲・態度：関心のある運動を、状況に応じて工夫して実践できる				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	オリエンテーションー授業の進め方や評価方法ー	予習	スポーツウェア等を準備しておく
	全般を通しての授業の進め方や評価方法の、注意事項等の説明	復習	普段からの体調の整え方を復習する
(2)	姿勢を見直そう	予習	不良姿勢の問題点を予習する
	正しい姿勢を作るための身体の仕組み	復習	正しい姿勢を日常生活の中で意識する
(3)	楽しく身体を動かそう	予習	オーバーロードの原則を予習する
	適切な負荷を課した運動	復習	自分にとって適切な運動負荷を復習する
(4)	正しいウォーキング	予習	ウォーキングの運動効率を予習する
	運動効率とウォーキング	復習	正しい歩き方を日常生活の中で意識する
(5)	簡単ストレッチ体操	予習	ストレッチ体操の種類とその効果について予習する
	比較的手軽にできるストレッチ体操の実践	復習	緩やかなストレッチ体操を日常生活の中で実践する
(6)	簡単エアロビックダンス	予習	エアロビックダンスの種類とその効果について予習する
	比較的手軽にできるエアロビックダンスの実践	復習	緩やかなエアロビックダンスを日常生活の中で実践する
(7)	ややハードなエアロビックダンス	予習	比較的短時間で体力を高める方法を予習する
	運動効率の高いエアロビックダンスの実践	復習	体調に応じて、ややハードなエアロビックダンスを日常生活の中で実践する
(8)	ソフトヨーガ	予習	ヨーガについて予習する
	緩やかなヨーガの実践	復習	緩やかなヨーガを日常生活の中で実践する
(9)	アクティヴヨーガ	予習	腹式呼吸・胸式呼吸について予習する
	呼吸法を意識したヨーガの実践	復習	呼吸を意識して、日常生活の中でヨーガを実践する
(10)	リラックスヨーガ	予習	リラックスヨーガとその効果について予習する
	心身を解きほぐすヨーガの実践	復習	リラックスヨーガを日常生活の中で実践する

(11)	ピラティス体験 腰痛予防のための運動の実践	予習	腰痛の主要因について予習する
		復習	腰痛予防のための運動を日常生活の中で実践する
(12)	コンディショニングエクササイズ体験 体調を整えるための様々な運動の実践	予習	コンディショニングの概要を予習する
		復習	体調に応じた運動を日常生活の中で実践する
(13)	ボクササイズ体験 格技形式のエアロビックダンスの体験	予習	ボクササイズの概要を予習する
		復習	体調に応じてボクササイズを日常生活の中で実践する
(14)	ナゴミサイズ体験 心身のリラックス効果が高いエアロビックダンスの体験	予習	ナゴミサイズの概要を予習する
		復習	体調に応じてナゴミサイズを日常生活の中で実践する
(15)	身体と心の相関について 心身相関への理解	予習	心身相関について予習する
		復習	心身の状況に応じて、日常生活の中で選択的・能動的に運動を実践する

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・選択		12540	後期	4	2
授業科目名	健康科学			学習相談	
英字科目名	Health and Science			体育館 1 階 吉谷研究室	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)		吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)			
使用テキスト					
テキストは使用しない					
授業の概要					
今世紀の「科学的な健康づくり」に应运、健康の意義と健康づくりの具体的な方法について、主に、食生活、運動生活、休養、感染症予防、健康を害する諸要因、環境問題の観点から学習する。					
到達目標					
(1)適切な生活習慣を实践できる。 (2)家族の健康管理ができる。 (3)環境問題に個人的レベルで貢献できる。					
履修上の注意					
本科目は講義科目であるが、授業の内容に应运、実践的な学習を行う場合がある。					
成績評価の方法・基準					
毎回の小レポート（3 点×13）、小テスト（30 点×2 回）を総合して評価する。					
課題に対するフィードバック					
小レポートは次回の授業の中でフィードバックする。小テストはテストを実施した次の授業の中でフィードバックする。					
参考図書	身体運動文化学会編「スポーツと健康」（道和書院）				
関連科目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅢ、生涯スポーツⅣ				
学位授与の方針との関連	知識・理解：健康、健康体力づくりへの理解 思考・判断：適切な生活習慣の保持				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	健康とはーガイダンスに代えてー 健康とは何かの理解並びに授業全般の進め方 や評価方法等についての説明	予習	どのような状態を健康と言うのか予 習する
		復習	自身の健康状態を自己評価する
(2)	現代社会と健康 現代社会において、健康について考える際の視 点	予習	社会の変化に伴う健康問題の変化に ついて予習する
		復習	新たな健康問題の視点について復習 する
(3)	発育・発達と健康 発育・発達の特徴と発育・発達に応じて必要と される運動	予習	スクヤモンの発達曲線んを予習する
		復習	年齢に応じて必要とされる運動を具 体役に復習する
(4)	健康体力づくり運動の基礎理論 個々人の状態に応じた適切な運動負荷の目安	予習	オーバーロードの原則を予習する
		復習	自分にとって適切な運動負荷の目安 を復習する
(5)	運動と骨格 カルシウムの働きと体内での貯蔵	予習	カルシウムを多く含む食品を予習す る
		復習	骨密度維持の重要性を復習する
(6)	救急法 救急法の概要とAEDの使用方法	予習	AEDの使用方法を予習する
		復習	救急法の要点を復習する
(7)	前半のまとめと小テスト① 前半の重点事項と理解度の評価	予習	前半の重点事項を予習する
		復習	小テストの内容を復習する
(8)	休養と健康 休養（特に睡眠）の重要性について	予習	休養の必要性を予習する
		復習	睡眠の重要性を復習する
(9)	食事と健康 バランスの良い食事について	予習	適切な食事について予習する
		復習	野菜不足の問題点を復習する
(10)	飲酒・喫煙と健康 飲酒・喫煙の問題と社会的影響	予習	飲酒・喫煙の問題点を予習する
		復習	副流煙の問題点を復習する
(11)	薬物乱用と健康 薬物乱用の個人的・社会的影響	予習	薬物とは何か予習する
		復習	薬物に関わらない日常生活の仕方を 予習する
(12)	感染症とその防御システム	予習	免疫とアレルギーについて予習する
		復習	感染症を予防するための日常生活の 在り方を復習する

(13)	現代の環境問題 環境問題の推移とそれへの対応策	予習	環境問題の種類を予習する
		復習	環境問題への個人的レベルの対応策を復習する
(14)	後半のまとめと小テスト② 後半の重点事項と理解度の評価	予習	後半の重点事項を予習する
		復習	小テストの内容を復習する
(15)	授業の復習とまとめ 授業の総括とより良い日常生活の過ごし方	予習	授業全般の重点事項を予習する
		復習	適切な日常生活の過ごし方を復習する

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12600	前期	1	2
授業科目名	就業力基礎			学習相談	
英字科目名	Basic Job Hunting and Working Ability			講師控室。学生専用 e-mail: kawabe-kit@wcp-jp.com	
代表教員名		担当教員名			
吉谷 修 (Osamu YOSHITANI)		川邊 卓也 (Takuya KAWABE)			
使用テキスト					
『SPI3 非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)、その他、配付プリント教材					
授業の概要					
(1) 授業の内容について自分で考え、考えを口頭で述べてもらう。(思考力、口述力) (2) 授業の終わりに、100字程度の感想レポートを書いてもらう。(文章表現力) (3) 就職活動の際に必須の基礎的演習をSPIを中心に行ってもらう。(基礎的計算力)					
到達目標					
(1)上位学年になった時に自分の将来や就職について具体的に考えることができる。 (2)そのために大学生活をいかに有意義に送るかという目的意識を持ち、目標を志向 する行動ができる。 (3)仕事に影響を与える日本や世界の時事問題、動向に関心を持つことができる。					
履修上の注意					
次のことを身につけようとして授業に臨むこと。 (1) 就職や仕事について考え、自ら職業観を育む。 (2) 職業人生における目的と目標を持ち、それを実現しようと努力する。 (3)自分の考えを短い文章で表現する。(4) SPIに対応できる基礎的な計算力を培う。 (本シラバスの対象学科は、機械システム工学科、交通機械工学科、情報ネットワーク 工学科、教育創造工学科である。)					
成績評価の方法・基準					
毎回の授業での感想レポートと演習50%、期末テスト50%					
課題に対するフィードバック					
講義 中に出した課題 や小テスト 小テスト は、最終講義までにフィードバックする。					
参考図書	『SPI3 非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)				
関連科目	就業力関係科目				
学位授与の方針との関連	関心・意欲・態度 (6) 社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて技術者としての責任を遂行することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	ガイダンス 全体説明、SPI模擬テスト	予習	『SPI3非言語能力検査こんだけ!』(以下、テキストという)を全問予習してください。
		復習	正解できなかった問題をテキストで確認し、正答できるように復習してください。
(2)	働くということ(1) 就職活動を知る・考える1、SPI他	予習	大学卒業後、就きたい職業に就き、したい仕事をしている自分を具体的にイメージし、それを箇条書きにしてください。
		復習	働く覚悟がまだ不十分だと再確認し、何が不足しているかを描き直し、箇条書きにまとめてください。
(3)	働くということ(2) 就職活動を知る・考える1、SPI他	予習	働く準備をするとはどういうことかを想像し、箇条書きにまとめてください。
		復習	就職活動の現実を知り、自分だったらどういう準備をしておくかを具体的に箇条書きにまとめてください。
(4)	働くということ(3) 就職活動を知る・考える2、SPI他	予習	困難があっても努力して遂行したくなる仕事とは何か、箇条書きで3つ書き出してください。
		復習	したい仕事を3つ挙げ、なぜその仕事がしたいのか、理由を箇条書きでまとめてください。
(5)	働くということ(4) 企業活動を知る・考える1、SPI他	予習	テキストの問題を全量の3分の1まで正解できるように解答の練習をしてください。
		復習	企業もまた採用に懸命になる理由を企業側の立場に立って、箇条書きでまとめてください。
(6)	働くということ(5) 企業活動を知る・考える2、SPI他	予習	企業の損益計算書のモデルをひとつ選び、手元資料として準備してください。
		復習	企業が生き抜くためにどのような方法をとっているか、その企業活動とそこで働く人の役割や関係について箇条書きでまとめてください。

(7)	働くということ(6) 企業活動を知る・考える 3、SPI 他	予習	働いている人から「これから就職する人へのアドバイス」を受け、箇条書きにまとめてください。
		復習	授業で学んだことや気づいたことを箇条書きでまとめてください。
(8)	キャリアデザイン(1) 職業人生を描く 1、SPI 他	予習	自分に起こる人生のできごとを時系列に並べ、年表化してください。
		復習	世界で起こるできごとや経済が自分の仕事や将来の自分の家族の生活に及ぼす影響を箇条書きでまとめてください。
(9)	キャリアデザイン(2) 職業人生を描く 2、SPI 他	予習	生涯賃金について調べ、箇条書きにまとめてください。
		復習	授業で学んだ労基法をくべて箇条書きでまとめてください。
(10)	キャリアデザイン(3) 職業人生を描く 3、SPI 他	予習	テキストの分量 3 分の 2 まで正解できるように解答の練習をしてください。
		復習	人生設計と職業人生設計のシートを完成させてください。
(11)	キャリアデザイン(4) 応募書類の実例に学ぶ、SPI 他	予習	エントリーシートに自力で記入してください。書けることだけを書いてください。
		復習	本番を想定してエントリーシートを作成してください。
(12)	キャリアデザイン(5) ビジネスマナーの基本を知る 1、SPI 他	予習	身の周りにあるマナーを集めてきてください。箇条書きでまとめてください。
		復習	ビジネスマナーとその意味を箇条書きにまとめてください。
(13)	キャリアデザイン(6) ビジネスマナーの基本を知る 2、SPI 他	予習	ビジネスマナーをできるだけ多く調べ、箇条書きにしてください。その一つひとつに対する自分の意見をまとめてください。
		復習	授業で習得したことを箇条書きにまとめてください。
(14)	学ぶということ 学ぶ理由を考える、SPI 他	予習	好きな科目と苦手な科目を 3 つずつ挙げ、苦手な科目はなぜ苦手か、どう克服するかを箇条書きでまとめてください。
		復習	就職活動の時期が来るまでにどのような経験を積み、準備をしておく必要があるかを箇条書きでまとめてください。

(15)	就職についての考え方まとめ 就職活動期までの個人目標を設定する、S P I 他	予習	就職活動時期までに行うべきことと実行スケジュールを書いてください。テキストの問題を全て正答できるよう練習してください。
		復習	人生の節目における目標と大学4年間での自身の成長曲線を書き、項目のすべてを数値化してください。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12600	前期	1	2
授業科目名	就業力基礎			学習相談	
英字科目名	Basic Job Hunting and Working Ability			kawano.namiko@mynavi.jp	
代表教員名		担当教員名			
藤原 孝造 (Kozo FUJIWARA)		河野 菜美子 (Namiko KONO)			
使用テキスト					
『SPI 2 非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)、その他、プリント配布					
授業の概要					
自分の将来について具体的に考えるため、現在の自分と将来ありたい自分をイメージし、現実の環境の中でどう考え、行動すれば目標への道を見つけられるか、ワークを取り入れながら向き合います。現在興味のある将来の就職先に向けて情報収集を進めると共に、自己表現のスキル向上を図ります。					
到達目標					
大学進学を目的を再確認し、大学時代が社会に向かうための重要なプロセスであることを認識する					
履修上の注意					
次のことを身につけようとして授業にのぞむこと。 (1) 大学進学を目的を再確認し、大学時代が社会に向かうための重要なプロセスであることを認識する (2)自己理解を深め、自身のことを第三者に語ることができる(3)SPI を含む基礎的な計算					
成績評価の方法・基準					
平常点 45 点、レポート 35 点 (7 回×5 点)、課題 20 点					
課題に対するフィードバック					
レポート、提出物に関しては添削・採点などを行いその都度対応していく。					
参考図書	授業で紹介する。				
関連科目	就業力基礎→就業力実践演習				
学位授与の方針との関連	(関心・意欲・態度) (5) ものづくりに関心を持ち、グローバルな視点で他者と協働し、社会に貢献・奉仕することができる。 (6) 社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて技術者としての責任を遂行することができる。				

授 業 計 画			
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	ガイダンス【全体説明 S P I 他】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(2)	自分の足跡をたどる～大学生活とキャリア①～【□自分史の作成／小・中・高校時代に興味・関心を抱いていたことや尊敬していた人物を書き出してみる】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(3)	自分の足跡をたどる～大学生活とキャリア②～【□自分史の作成／小・中・高校時代に興味・関心を抱いていたことや尊敬していた人物を書き出してみる】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(4)	自分の夢を叶えるために【自立＝自律することの大切さ／目標設定の仕方と実習／時間管理法、手帳の使い方と演習】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(5)	資格、アルバイト、クラブ活動で人間力を高める【もし資格にチャレンジするとしたら／アルバイトでの経験がどう生きるか／上下関係、協調性、先導力】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(6)	コミュニケーション能力向上の秘訣【実践編】 【マナーとコミュニケーションの関係性／対人コミュニケーションとは／認めるスキルと聴くスキル／ゲームを通じて「会話力」「傾聴力」「質問力」を習得する。】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(7)	就職活動の現場から【卒業後の進路と現在の雇用環境を知る／就職活動のスケジュール（流れ）と、採用手法について理解する】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。

(8)	仕事を知り、働き方を知る【業界・業種・職種のちがい／世の中に存在する多様なキャリアフィールド／各業界の動向を頭に入れておく】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(9)	なりたい職業に就くために【インターンシップ／在りたい自分になるために／夢を実現するために必要なこと（就職活動の行動設定）】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(10)	卒業後の自分をイメージする①【入社3～5年目貴校OBの社会人から、学生生活の過ごし方や現在の仕事についての話を聞く】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(11)	卒業後の自分をイメージする②【「なりたい自分」になるためにはどのようなプロセスが必要かを考える／課題の発見】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(12)	自分を表現してみよう①（文章表現）【文章表現の方法とコツを基礎から学ぶ／論文（レポート）講義作成のポイント／人の心を打つ表現とは】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(13)	自分を表現してみよう②（プレゼンテーション）【□プレゼンテーションの基本を学ぶ／話す力を磨く／自身の「座右の銘」を自分なりの方法でアピールする】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(14)	自分の将来像を描く～大学生活充実化計画～【講義を通じてイメージされた大学生活の過ごし方や将来の在り方を再確認。実行プランの作成⇒自己宣誓文】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。
(15)	夏休みの過ごし方・まとめ【夏休みの過ごし方について、各自取り組むべきことを明確にする。本講座の振り返り】	予習	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。
		復習	配布されたプリントを見直しまとめる。

授業科目区分		科目コード	開講期	履修セメスタ	単位
共通・必修		12631	後期	6	2
授業科目名	地域の現状と課題			学習相談	
英字科目名	Current Situations and Issues of the Fukuoka Prefectural Region			6 号館 4F 異研究室	
代表教員名		担当教員名			
異靖昭 (Yasuaki TATSUMI)		異靖昭 (Yasuaki TATSUMI)			
使用テキスト					
特に定めない。					
授業の概要					
当科目では、本学が立地する、地域(九州地方、福岡県、筑後地方)の産業の現状や地域の課題の理解を深めることを目標とします。具体的には以下の 2 点を講義の柱とします。 1.地域の産業分析の基礎となる産業連関表の読み方を学ぶ。 2.地域に関する雑誌、新聞記事、ゲストスピーカーの話を元に、地域の現状や課題の理解を深める。 毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員（異）に質問して解いたりしても構いません。また、毎週以下の宿題（新聞要約）を課します					
到達目標					
1 .地域の歴史と課題を理解する。 2.各自が可能な地域貢献を理解する。					
履修上の注意					
毎回出席して、講義中課題、宿題（新聞要約）を提出する事を義務付けます。講義中課題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員（異）に質問して解いたりしても構いません。					
成績評価の方法・基準					
講義中課題(30%)、宿題(新聞要約)(30%), 知識確認テスト（40%）					
課題に対するフィードバック					
久留米工業大学 e.Campus より宿題の提出状況は確認出来る。					
参考図書	九州経済調査協会編『地域産業の新たな展開―九州・山口からの挑戦』西日本新聞社,2010				
関連科目	なし				
学位授与の方針との関連	（関心・意欲・態度） （2） 社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて技術者としての責任を遂行することができる。				

準備学習時間		授 業 計 画	
講義内容		準備学習	
		予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。	
(1)	産業連関表とは1： 大きな数の読み方、産業連関表で使われる用語	予習	なし
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。
(2)	産業連関表とは2： 産業連関表の縦方向の読み方	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。
(3)	産業連関表とは3： 産業連関表のヨコ方向の読み方	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。
(4)	産業連関表とは4： 産業連関表による波及効果分析	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。
(5)	産業連関表とは5： 経済波及効果の計算(閉鎖経済)	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。
(6)	産業連関表とは6： 経済波及効果の計算(開放経済)	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。

(7)	九州の地域産業の現状と展望： 地域産業とは何か	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。
(8)	九州の地域産業の現状と展望： 地域産業を支える 4 つの背景	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。
(9)	九州の地域産業の現状と展望： 久留米地域におけるバイオ産業	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。
(10)	九州の地域産業の現状と展望： 福岡県北部のサービスロボット産業	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。
(11)	九州の地域産業の現状と展望： 福岡市のゲーム産業	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。
(12)	九州の地域産業の現状と展望： 大川・諸富地区の木製家具産業	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。
(13)	九州の地域産業の現状と展望： 福岡市の屋台	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回の プリントを熟読し理解を確実にしてから 講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、 全て答えて提出する。講義中の配布プ リント再読する。

(14)	これまでの総まとめ：	予習	宿題（新聞要約）を提出する。前回のプリントを熟読し理解を確実にしてから講義に臨む。
		復習	講義中課題で未終了のものがあれば、全て答えて提出する。講義中の配布プリント再読する。
(15)	知識確認テスト（45-60分）とその解説：知識確認テストを行った後、その解説を行う。	予習	これまでの全配布物を熟読し、理解を確実にする。
		復習	テストの解説を再読し、理解を確実にする。